

# 「鎌倉芳太郎ノート」 収載文献資料について

齊 藤 郁 子

現在、沖縄県立芸術大学附属図書・資料館所蔵の「鎌倉芳太郎資料」（以下、「鎌倉資料」と記す）のうち、いわゆる「鎌倉芳太郎ノート」（以下、「鎌倉ノート」と記す）と呼ばれる鎌倉芳太郎の筆写資料には、非常に貴重な文献が含まれている。

これら「鎌倉資料」については、鎌倉芳太郎著『沖縄文化の遺宝』が刊行されるにあたり鎌倉家から岩波書店へ沖縄関係の資料が移管された後、沖縄県立芸術大学へ寄贈された際、基礎作業として目録が作成され（作成・波照間永吉他）、それをもとに記載内容を考慮し整理し直した『沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵 鎌倉芳太郎資料目録』（以下、『目録』と記す）が刊行された。また、「資料」の解題として波照間永吉氏が『文学』に「鎌倉芳太郎が集めた沖縄関係文献資料」〔波照間永吉 1998:125～127頁〕を執筆し、内容から分類し解説している。また、テキストクリティークの作業上、鎌倉ノートを諸本検討のうち的一本として校合したものに関しては言及されているものもある〔外間守善・波照間永吉 1997:585～590頁〕。

しかしながら、紙面の制約もあり、「鎌倉ノート」の個々の文献の書誌情報にまでは触れられていない。また、筆写資料自体、出典や親本を明記していないものも多く、そこは問題がある資料であるといえる。

## 1. 「鎌倉ノート」の内容

まずこの「鎌倉資料」であるが、波照間氏によると「大きく『文献資料』『紅型型紙資料』『写真資料』の三つに分類される」〔波照間 1998:125頁〕ものであり、ここで取り扱う「鎌倉ノート」とは『文献資料』のうちの「氏自身が沖縄各地を調査した際に作成したフィールドノートおよび資料の筆写ノート」〔波照間 1998:125頁〕と定義されている。

さらに、波照間氏は資料の内容から分類されているのでそれを下記に挙げ

る。

- I 由来記・旧記その他祭祀関係資料
- II 首里王府編纂の歴史関係史料
- III 王府の組織・政治・経済関係史料
- IV 間切規模・例帳関係資料
- V 冊封儀礼関係資料
- VI 江戸上り関係資料
- VII 文芸・芸能関係、その他資料
- VIII 家譜資料

[波照間 1998:126頁]

これを見ると、琉球国時代の多岐に渡る分野の資料を鎌倉は筆写・収集していたということがわかる。ただし、数多い鎌倉ノート中の個々の資料の書誌情報は、まだ完全には把握されていないのが現状である。そこで、その資料の性格・原本等をできうる限り明らかにしたいと考え、鎌倉ノートの文献資料の書誌情報を表に纏めたのが「鎌倉芳太郎ノート記載文献資料一覧表」である（後掲）。これには、『目録』にすでに記されている情報と共にノート中の書誌情報も併せて纏めたが、残念ながら親本についての記載の無い資料の原本を確定するには限界があり、未詳のものが多くなってしまった。そのため今後も明らかになった資料の書誌情報を順次加え、より充実したものにしていきたいと考えている。

次に、表の補足として触れておきたい点を述べる。

## 2. 親本について

先にも触れたように、これら多くの文献資料を、鎌倉がどこで・誰が所蔵している本から筆写したか、不明なものも多い。しかし、鎌倉が特別に尚家所蔵の資料を閲覧・筆写の許可を得たと思われるものも見られる。それについては、例えば「尚侯爵家所蔵本」（ノート49「碑文記 全」）と明確に記載され、親本が尚家の所蔵していた本であるもの、あるいは「（大正十五年十二月十三日尚侯爵家ニテ原本ト校合了」（ノート33A「No.4 琉球国由来記年中祭祀 全」）というように、初めに、ある本を筆写しそれを尚家が所蔵し

ていた本と校合し、テキストとしてより正確な資料としたと推測できるものがある。

鎌倉が首里城解体工事中止に関わった一件以来、旧王家から信頼を得、格別の配慮を受けていたことはよく知られているが[鎌倉芳太郎 1982:71頁] 尚家所蔵の文書を閲覧する機会に恵まれたことを如実に物語るノートである。

他に親本が明確に記載されている例を挙げると、ノート8「沖縄県旧慣租税制度 写」のように「沖縄県立図書館蔵本 伊地柴木氏蔵本ニテ校正」と、筆写・校合元がわかる資料もある。

初期の沖縄県立図書館長であった伊波普猷・真境名安興・島袋全発らの尽力もあり、この時期の図書館は郷土資料の収集を鋭意行っており、「沖縄研究の宝庫」[大城宗清 1983:506～507頁] ともいうべき資料群であったようである。そこの沖縄関係資料を筆写し残したのは、沖縄戦でほとんどの旧県立図書館の資料が失われた今となつては貴重なものであろう。

鎌倉の引用、筆写した資料名は、『沖縄県立沖縄図書館郷土史料目録』（以下『郷土目録』と記す）に記載のある資料が非常に多い。戦争でほとんどの資料が灰燼に帰した図書館の資料の実物を現在では見るできないため確実なことは云えないが、おそらく鎌倉はこの戦前の沖縄県立沖縄図書館を大いに利用し研究していたのではないかと推測する。

そのように推測できる理由としては、さらに二つのことが挙げられる。一つは、この沖縄県立沖縄図書館には、実物か筆写したものは不明ながら伊波普猷の個人的な蔵書も資料として収められていたようで、『郷土目録』には、現在、琉球大学附属図書館伊波普猷文庫（以下「伊波文庫」と記す）に見られる資料と重なる書名も多い。鎌倉はおそらくこの資料から筆写したのではないかと思われる部分があるのである。例えば、ノート24の「こえにや」は出典・親本不明であるが、伊波文庫所蔵本の「こゑにや やらし」とつき合わせてみると、歌謡の順序、注記等が同じであり、これからの筆写か、あるいは同じ系統の本からの筆写と推測できる。

二つ目として、伊波普猷の旧師である田島利三郎の資料からの筆写と見られるものがあるのも、田島の資料を譲られた伊波普猷が何らかの形でそれら

を図書館の資料とし、それを鎌倉が閲覧・筆写したためであろうと考えられる。例えば「各間切のろくもいのおもり（全）」（鎌倉ノート61）は、いわゆる「田島ノート」の「語学材料第十九」であり、同じく鎌倉ノート61の「南島八重垣（全）語学材料 第拾六」は、後に伊波普猷が校訂して雑誌『方言』に収録されたものの原資料からの筆写と思われる。ただし、現在ではこの田島ノート「語学材料 第拾六」の原本は行方不明であり、鎌倉ノートにあるこの記述から、「語学材料 第拾六」が「南島八重垣」であったことが確認できたものである〔齊藤 1999:57頁〕。ただ、残念なことに鎌倉による筆写は「(全)」と記載されてはいるが、実際は一部分のみを筆写したものである。

このように、資料の一部分のみを筆写したと思われる資料も多く、「(全)」と記載されていてもそれが確実であるか否かは大いに問題がある。筆写は鎌倉が恣意的に判断した部分のみにとどまり、個人的な備忘のための「ノート」として位置付けられる資料があることも指摘できるのである。今回は、資料が全文か抄録かの調査を残念ながら十全に行うことはできなかったため、これは今後の課題としたい。

さらに、鎌倉は各地に残る文献も筆写していたと見られる。ノート15「佐銘川大ぬし由来日記」は「写・佐敷間切（佐敷村役場所蔵本）（昭和二年四月三日校正了）」とあり、この地方のフィールドワークを行っていた時期に筆写したものであると思われる。なお、伊波文庫所蔵のもので、伊波が佐敷番所で筆写したと見られる写本があるが、これとつき合わせてみると、伊波筆写本に見られる系図と「孫姓大宗家譜序」が鎌倉ノートの方には無い。また、伊波筆写本には冒頭に「佐敷番所ニ於テ写之」とあるが筆写年代記載が無い。即断は避けるべきであるが、以上のことからすると、鎌倉が筆写した親本は不明ながら、独自に佐敷の役場所蔵する本に当たり校正した資料であると思われるのである。

見てきたように、出典・親本の記載が無かったり、抄録であっても明記していないなど難のある資料が存在していても、鎌倉は沖縄研究における重要文献のほとんどを閲覧・筆写している。これら筆写ノート全体から、鎌倉の資料選択が自ずとわかるわけである。例えば、歴史的な事項の調査には『球陽』と家譜を多く用いており、『中山世鑑』『中山世譜』等はそれほど使用さ

れていない。ここに資料に対する鎌倉の判断がみてとれるのである。

また、中にはその存在の特殊さで今後の研究が待たれるものもある。ノート37の「古事集」がそれである。「評定所 丑日(尚侯爵家所蔵本)共十三冊」と記載がある。これに関して波照間氏は「本書は全体が漢文で構成されており、『琉球国旧記』との関係を想像したくなるが、全体の構成、記事はまったく別物である。…このように『<sup>マ</sup>故事集』は今となってはまったく独自の文献である可能性が高いものである。いずれにせよ、『琉球国由来記』『琉球国旧記』と並ぶ、首里王府編纂の祭祀習俗および地誌関係資料として貴重である。」[波照間 1998:127頁]と位置付けている。また『琉球国由来記』の各巻については鎌倉ノートのものはその表題・順序等、問題は多いが、それらについてはすでに『定本琉球国由来記』の解題で詳細に述べられており、ここでは割愛する。

鎌倉ノートは他に鎌倉本人がフィールドワークを行った際の記録があり、それらもまた非常に貴重なものであるが、こちらに関しては稿を改めて考察したいと思う。

## 引用文献

- ・大城宗清 1983「沖縄県立沖縄図書館」沖縄大百科事典刊行事務局[編]『沖縄大百科事典』沖縄タイムス社
- ・鎌倉芳太郎 1982『沖縄文化の遺宝』岩波書店
- ・齊藤郁子 1999「田島利三郎の沖縄研究一言語資料について一」『沖縄文化』第35巻1号 沖縄文化協会
- ・波照間永吉 1998「鎌倉芳太郎が集めた沖縄関係文献資料」『文学』第9巻第3号 岩波書店
- ・法政大学沖縄文化研究所[編] 1977『沖縄県立沖縄図書館郷土史料目録』(復刻) (法政大学沖縄文化研究所)
- ・外間守善・波照間永吉[編著] 1997『定本 琉球国由来記』角川書店

## 参考文献

- ・沖縄県立芸術大学附属研究所[編] 1998『沖縄県立芸術大学附属図書・資料館

所蔵 鎌倉芳太郎資料目録』沖縄県立芸術大学附属研究所発行

- ・ 沖縄大百科事典刊行事務局 [編] 1983 『沖縄大百科事典』 沖縄タイムス社
- ・ 久貝典子 2003 「鎌倉芳太郎の琉球芸術調査 (上)」 『沖縄文化』 第38巻2号 沖縄文化協会
- ・ 波照間永吉 1998 「鎌倉芳太郎が集めた沖縄関係文献資料」 『文学』 第9巻3号 岩波書店
- ・ 原田あゆみ 1999 「鎌倉芳太郎の前期琉球芸術調査と美術観の変遷」 『沖縄県立芸術大学附属研究所紀要 沖縄芸術の科学』 第11号 沖縄県立芸術大学附属研究所
- ・ 外間守善・波照間永吉 [編著] 1997 『定本 琉球国由来記』 角川書店

## 謝 辞

加治工真市先生には、私が沖縄県立芸術大学大学院博士課程に入学してから、研究テーマの言語学的な方面に関して多くの御指導をいただきました。御多忙中にもかかわらず、丁寧に論文のチェックをしてくださった加治工先生の温厚にして真摯な御人柄と研究姿勢に多くのことを学ばせていただきました。深く感謝申し上げます。

また、この稿を執筆するにあたり、未刊行資料である「鎌倉芳太郎ノート」の閲覧のご許可をいただき、様々な便宜を図っていただきました。沖縄県立芸術大学附属研究所、沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館の関係者の皆様、そして波照間永吉教授に厚く御礼申し上げます。

(さいとう いくこ・日本学術振興会特別研究員)

## 「鎌倉ノート」 記載文献資料一覧表

### 凡 例

- この表は沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵「鎌倉芳太郎資料」のうちの鎌倉芳太郎の筆写資料（以下「鎌倉ノート」と記す）の内容を表にしたものである。
- 本ノートは大学ノート、手帳に筆写されたものであるため、資料の体裁・材質等については割愛した。
- 「ノート番号」「ノート表題」「収録文献」は、沖縄県立芸術大学附属研究所〔編〕『沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵 鎌倉芳太郎資料目録』（沖縄県立芸術大学附属研究所発行 1998年）に拠った。必要と思われるものについて筆者が補ったものは〔 〕で示した。また、事項が長い場合は初出のみ全部記載し後は「―」を付し省略したことを示した。
- 「内容」「内容補足」「書誌情報」は、上記目録にならないながら必要と思われる部分を筆者が補った。
- 上記目録の「収録文献」記載事項のうち、書誌的なものは適宜「書誌情報」に記した。
- 既刊の資料等に見られるものは参考として「備考」の項に記載した。
- 『沖縄県立沖縄図書館郷土史料目録』（以下『郷土目録』と記す）に見られる書名には「○」、『御蔵本目録（尚侯爵家）』（以下『御蔵本』と記す）に見られる書名には「◎」を参考として「備考」に記した。なお、両目録と書名が異なる場合は目録にある書名を（ ）で示した。また、「書誌情報」に所蔵が明記してある場合はこれらの記号は省き必要事項のみを記した。
- 今回使用した『郷土目録』は、大正13年、昭和4年刊行の分と併せて「昭和四年目録刊行後ノ郷土資料目録」も収録しているため、昭和4年刊行の目録に見えるものは「（～4）」、「昭和四年目録刊行後ノ郷土資料目録」に見えるものは「（4～）」と記載して区別した。
- 原田あゆみ氏の調査によるノート記録年代（〔原田あゆみ 1999:28～29頁〕）は〈 〉で示した。
- ノート本文記載事項の引用は「 」で示した。

○判読不能の文字は「□」で示した。

## 参考文献

- ・ 沖縄大百科事典刊行事務局 [編] 1983 『沖縄大百科事典』 沖縄タイムス社
- ・ 那覇市企画部市史編集室 [編] 『那覇市史』 資料篇第1巻家譜資料1～4 那覇市企画部市史編集室
- ・ 原田あゆみ 1999 「鎌倉芳太郎の前期琉球芸術調査と美術観の変遷」 『沖縄県立芸術大学附属研究所紀要 沖縄芸術の科学』 第11号 沖縄県立芸術大学附属研究所
- ・ 加藤周一ほか [編] 1984 『平凡社大百科事典』 平凡社
- ・ 法政大学沖縄文化研究所 [編] 1977 『沖縄県立沖縄図書館郷土史料目録』 法政大学沖縄文化研究所
- ・ 法政大学沖縄文化研究所 [編] 1978 『御蔵本目録 (尚侯爵家)』 法政大学沖縄文化研究所



## 「鎌倉芳太郎ノート」記載文献資料一覧表

ノート番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
1	美術 彫刻	球陽および家譜の関連記事写	寺院、御嶽等創建の記録			◎◎
1	美術 彫刻	球陽および家譜の関連記事写	毛姓家譜 正統			
1	美術 彫刻	球陽および家譜の関連記事写	梅帯華・田名筑登之親雲上宗経（家譜抜粋あり）			
1	美術 彫刻	球陽および家譜の関連記事写	本朝大仏師職正統系図			
1	美術 彫刻	球陽および家譜の関連記事写	新参用姓家譜			
1	美術 彫刻	球陽および家譜の関連記事写	翁姓世系図 四世盛方 稲嶺親方 [抜粋]	「玉城家ノ屋上ニアリシ獅子ノ年代ニツキ」		
1	美術 彫刻	球陽および家譜の関連記事写	瓊姓家譜 支流 [一部]			
1	美術 彫刻	球陽および家譜の関連記事写	益姓家譜 支流 [抜粋]			
2	美術 絵画	家譜写	鄭姓家譜小宗 十七番占波蔵親雲上	「太守公賜・・・錦絵・・・」 探幽鶴画軸		◎
2	美術 絵画	家譜写	球陽	「察度寿影」「南山王の金彩屏風」等、絵画の記録		◎◎
2	美術 絵画	家譜写	玉城家家譜 翁姓世系図			
2	美術 絵画	家譜写	玉城朝薫家譜 [抜粋]	芸能披露、賜品「賜周信絵」「賜柳園筆絵」		『那覇市史』資料篇第1巻7「向姓家譜（辺土名家）」
2	美術 絵画	家譜写	殷姓家譜 支流	絵師・殷元良		○（4～）
2	美術 絵画	家譜写	毛姓家譜支流	「王命画花鳥絵」		
2	美術 絵画	家譜写	李姓家譜	「尚成王御後絵拝調賞賜上布一疋」		
2	美術 絵画	家譜写	新参瓊姓家譜	絵師		
2	美術 絵画	家譜写	李姓家譜支流	絵師		
2	美術 絵画	家譜写	查姓家譜支流	絵師		

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
2	美術 絵画	家譜写	毛姓家譜少宗	十一世安長 澤岷里 之子親雲上		
2	美術 絵画	家譜写	翁姓家譜支流	伊舎堂親方		『那覇市史』資料 篇第1巻7「翁 姓家譜（伊舎堂 家）」
2	美術 絵画	家譜写	毛姓家譜支流	「毛長禧考（別冊参 照）」		
2	美術 絵画	家譜写	張姓家譜	絵師		
2	美術 絵画	家譜写	大宗鄭氏家譜 十七 番 湖城親雲上	十七世元廣		
3	工芸 陶工	資料写	球陽			○○
3	工芸 陶工	資料写	馬姓家譜	「六世良起勝連親方 ノ条ニ曰ク」		
3	工芸 陶工	仲村渠致元ノ研究 (資料写)	譜代用姓世系図 譜代用姓家譜		「那ハ市上泉町 仲 村渠致知氏」	
3	工芸 陶工	陶工師張献工研究 (資料写)	張姓家譜序 張姓世系総図			
3	工芸 陶工	瓦工ノ研究（フィー ルドノート資料写）	新参阮姓家譜		「安次嶺家所蔵（照 喜名家ト同文ナリ）」	
3	工芸 陶工	瓦工ノ研究（フィー ルドノート資料写）	新参阮姓世系図	「照喜名家」「安次嶺」		
3	工芸 陶工	瓦工ノ研究（フィー ルドノート資料写）	新参珠姓家譜 正統 新参珠姓世系図	「新参一世喜元」		
3	工芸 陶工	瓦工ノ研究（フィー ルドノート資料写）	陶磁破片蒐集場所			
3	工芸 陶工	瓦工ノ研究（フィー ルドノート資料写）	〔道光三十年戊三月 吉日一僉議集一西平 等〕			○
3	工芸 陶工	瓦工ノ研究（フィー ルドノート資料写）	宿姓家譜 平田筑登 之親雲上			
3	工芸 陶工	瓦工ノ研究（フィー ルドノート資料写）	新参宿姓世系譜 新参宿姓家譜 正統	「新参一世典通」		
3	工芸 陶工	瓦工ノ研究（フィー ルドノート資料写）	能姓家譜 支流	「五世宣凭」		
4	工芸 雑工 金工	資料写	球陽	螺赤頭・金・石木鉄 各三奉行、鍍金、石 碑、匠工の事項等		○○
4	工芸 雑工 金工	資料写	毛姓家譜正統	「二世盛親ノ條ニ曰 ク」		
4	工芸 雑工 金工	資料写	金工資料 「八重山 嶋鍛冶例帳 八重山 嶋」			

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
4	工芸 雑工 金工	資料写	宮古島御規模帳（部分）			◎◎
4	工芸 雑工 金工	資料写	陶磁工資料「宮古島 蔵元公事帳」（部分）			○
4	工芸 雑工 金工	資料写	宮古島所遣座例帳 （諸細工、部分）			○
4	工芸 雑工 金工	資料写	宮古島鍛冶例帳			○
4	工芸 雑工 金工	資料写	李姓家譜 支流	八世由人 普請		
4	工芸 雑工 金工	資料写	平姓家譜	九世景敕 磨物師		
5A	美術 紋様	資料断片	宮古島御規模帳		同治十三年甲戌十二月	◎◎（年代不明）
5A	美術 紋様	資料断片	（久米仲里間切） 杣 山職務帳		乾隆三十四年己丑七月	◎（年代不明）
5A	美術 紋様	資料断片	球陽			◎◎
5A	美術 紋様	「時草紙」の研究（5p）			[所蔵者：中頭郡中 城村熱田 小橋川善 安 冊数：2部 内容殆 ど同ジ]	
5A	美術 紋様	[遺老説伝]	第二巻（項目「84」）			◎◎
5B	工芸 陶磁工	大日本窯業協会編纂 日本近世窯業史第3 編 写	「大隈国」「薩摩国」 「琉球国（仲村渠致 元ノ記事）」			
5B	工芸 陶磁工	陶磁工資料	八重山島壺瓦方例帳		「大正十四年十一月 廿四日校了」	
5B	工芸 陶磁工	陶磁工資料	瓦奉行例帳	乾隆三拾八年瓦奉行 例帳癸巳二月書改		○
6	工芸 染織工 I 附 縫工	球陽（関連記事）	織物、布帛、衣冠、 製糸・製紙、色彩等 の記事		〈大正14年11月14 日〉 （「雑工ノ部ニ誤記セ リ」という部分あり）	◎◎
6	工芸 染織工 I 附 縫工	[資料写]	『実用機織法』横井 実雄著	「織工研究ノ要点」		
6	工芸 染織工 I 附 縫工	資料鬱金香館内支配 被仰付候件	薩摩の要望、琉球国 内の鬱金			◎（鬱金香館内 支配并売上被仰 付候件）
6	工芸 染織工 I 附 縫工	型付（知念家ノ系統 調査）	新参呉姓家譜正統	新参一世舒昌 比嘉 筑登之親雲上		『那覇市史』資料 篇第1巻7「譜 代呉姓家譜支流 （松堂家）」に二 世以下の記録あ り。

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
6	工芸 染織工1 附 縫工	染工資料 「久米島 紬染色取調報告」	染料の配合割合、旧 藩時代から廃藩以後 の変化、染法		「仲里村字真謝 仲 原善久氏」「大正十四 年十一月十四日頃写 了」	
6	工芸 染織工1 附 縫工	八重山島御用布座公 事帳	勤方、道具、取納、 調方、等々貢布に関 する定め			
6	工芸 染織工1 附 縫工	八重山島蔵元公事帳 咸豊七年丁巳十一月	「村々御用布賦帳勘 定相逐・・・」			○ (年代不明)
6	工芸 染織工1 附 縫工	八重山島所遣座例帳 同治十三年	大美御殿江頭三人大 阿母老人より献上布 定之事			○ (年代不明)
6	工芸 染織工1 附 縫工	八重山島農務帳 (ノ ート7に続く)	農事に関する月ごと の定め、染料栽培・ 製造			
7	工芸 染織工2	(承前) 八重山島農 務帳				
7	工芸 染織工2	琉球産業制度史料 巻6 写	「咸豊七巳年 原八 重山島旧規書類」	「同治十三戌年原八 重山島仕上世座例 帳」等		○ (年代不明)
7	工芸 染織工2	琉球産業制度史料 巻6 写	宮古島貢布之事	「同治十三年甲戌 十二月原宮古島諸物 代附帳」「同治十三 年戌原宮古島諸村公 事帳」等		○ (年代不明)
7	工芸 染織工2	琉球産業制度史料 巻6 写	久米島貢布之事	「中頭方取納座定手 形 (雍正拾三年乙卯 六月十七日)」「道光 十一年卯十一月十二 日原久米島仲里間切 公事帳」等		○ (「中頭方・・・」年代 違い。「久米島・・・」年 代不明)
7	工芸 染織工2	八重山資料	「咸豊七巳年 原八 重山島旧規書類」			
7	工芸 染織工2	八重山資料	「同治十三年戌年 原宮古島仕上世座例 帳」			○ (年代不明)
7	工芸 染織工2	八重山資料	「咸豊七巳年 原宮 古島旧記書類」			
7	工芸 染織工2	八重山資料	「同治十三年戌年原 宮古島仕上世座例 帳」			○ (年代不明)
7	工芸 染織工2	八重山資料	「同治十三年戌年原 宮古島規模 [帳]」			◎◎ (年代不明)

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
7	工芸 染織工2	八重山資料	「八重山嶋仕上世座 公事帳 八重山島」			○
7	工芸 染織工2	八重山資料	「八重山島仕上世座 例帳」			○
7	工芸 染織工2	八重山資料	「八重山島所遣座公 事帳 八重山」			○
7	工芸 染織工2	八重山資料	「八重山島所遣座例 帳」			○
7	工芸 染織工2	八重山資料	「八重山島諸物代付 帳」(同治十三年甲 戌十二月)			○(八重山島諸 物代集[付?]帳)
7	工芸 染織工2	八重山資料	「八重山島諸村公事 帳」			○
7	工芸 染織工2	八重山資料	「八重山島御規模帳」 (同治十三年甲戌 十二月)			○(年代不明)
7	工芸 染織工2	八重山染織調査書類	書名リスト			
7	工芸 染織工2	久米仲里間切諸村公 事帳(抜萃)				○
7	工芸 染織工2	久米具志川間切諸村 公事帳(抜萃)				○
7	工芸 染織工2	久米仲里間切柚山職 務帳(乾隆三拾四年 己丑七月)				◎(年代不明)
7	工芸 染織工2	柚山一件被仰渡候箇 條書(久米仲里間切)				
7	工芸 染織工2	久米仲里間切上木仕 立帳				
7	工芸 染織工2	久米仲里間切公事帳				○
7	工芸 染織工2	地租帳	久米、宮古、八重山 三島ノ部 今西参事 官編			○
7	工芸 染織工2	地租帳	書名リスト			
7	工芸 染織工2	宮古島御規模帳(抜 萃)				○○
7	工芸 染織工2	宮古島蔵許公事帳 (抜萃か)				○
7	工芸 染織工2	宮古島小与座公事帳 (抜萃か)	同治拾四年乙亥二月			
7	工芸 染織工2	宮古島惣横目座公事 帳(抜萃か)	乾隆五十九年、咸豊 七年、同治拾三年			
7	工芸 染織工2	宮古島仕上世座例帳 (抜萃か)	乾隆三拾三年、咸豊 七年、同治拾三年			○(年代不明)

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
7	工芸 染織工2	宮古島諸村公事帳 (抜萃か)	宮古島歳元(同治 十三年甲戌十二月)			○(年代不明)
8	工芸 染色工3	宮古島御用布座公事 帳	勤方、道具、取納、 調方、等々貢布に関 する定め			○
8	工芸 染色工3	沖縄県旧慣租税制度 写	旧慣時代の貢布の課 税、等級、監督、徴収、 納期、手続き、罰則 等々		「沖縄県庁編 明治 二七 沖縄県収税長 祝辰巳 沖縄県立図 書館蔵本 伊地柴木 氏蔵本ニテ校正」	○
8	工芸 染色工3	宮古島諸物代付帳 (ごく一部)				○
8	工芸 染色工3	宮古島諸村公事帳			「染織工2」[ノート7] より続き	○
8	工芸 染色工3	宮古島仕上世座公事 帳	勤務規定等			○
9	工芸 染織工 (久米島之部) A	家譜写	司馬姓家譜		「仲里村字真謝屋号 ナカジル殿内与座周 建」	
9	工芸 染織工 (久米島之部) A	家譜写	大宗太史姓世系図	三世儀間親雲上	「仲里村字真謝屋号 寺ノ側宇江城昌訓」	
9	工芸 染織工 (久米島之部) A	家譜写	大宗公孫姓世系図	二世宮平親雲上	「仲里村字宇根屋号 上比嘉殿内喜久村梨 秀」	
9	工芸 染織工 (久米島之部) A	家譜写	美濟姓家譜 乾隆己 卯	元祖智真 西平親雲 上		「校訂了」
9	工芸 染織工 (久米島之部) A	家譜写	(小宗) 美濟氏世系 図	七世智慶 山里親雲 上	「島尻郡具志川村字 西銘屋号西殿内上江 洲智力氏」	「校訂了」
9	工芸 染織工 (久米島之部) A	家譜写	譜代弘姓家譜	新参一世政総 比屋 定親雲上	「那覇市上蔵町二ノ 九 岸本政智氏家 譜」	
9	工芸 染織工 (久米島之部) A	家譜写	元祖由来記(喜久里 記) - 巫馬氏世系図			
10	工芸 染織工 (久米島之部) B	[球陽]	久米島具志川歳元移 転、久米島仲里在番 の任期改正		<大正15年1月23日>	○○
10	工芸 染織工 (久米島之部) B	[久米島紬資料]<原 本>具志川村字西銘 喜久永智慎氏所蔵 大正15年1月23日 吉浜智政氏発見	緋の種類、寸法、色、 染色、代金、等々		「具志川村字西銘 喜久永智慎氏所蔵 (大正十五年一月廿 三日吉濱智政氏発 見)」	
10	工芸 染織工 (久米島之部) B	久米島古文書	仲里間切真謝 比屋 定周智氏所蔵古文書 集		仲里間切真謝 比屋 定周智氏所蔵	

ノート番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
10	工芸 染織工 (久米島之部) B	久米島古文書	具志川村字西銘 上 江洲智紀氏所蔵古文書	「定役願書并被仰付 候御書付写し」「ツバ キ」ノコノ前ノ文書 ハ欠落ノコト	前の文書が欠落して いるか。 上江洲智紀氏所蔵古 文書	
10	工芸 染織工 (久米島之部) B	久米島古文書	〔無書名〕「表紙ノ裏 ニ記ス」		「大正九年正月上江 洲智行氏より得たり ・・・」	
10	工芸 染織工 (久米島之部) B	久米島古文書	〔無書名〕 - 久米島 ノ疲弊ト貢租ニ於ケル 苦心・・・資料		「乾隆四拾年乙未記 〔兼城村〕」「乾隆五 拾貳年丁未記〔具志 川村〕」「嘉慶七年壬 戌記〔西銘村〕」「再 嘉慶七年壬戌記 〔兼城村〕」	
10	工芸 染織工 (久米島之部) B	久米島古文書	〔元祖以来善行記〕 乾隆十九年甲戌二月 吉日序			
10	工芸 染織工 (久米島之部) B	久米島古文書	〔家記〕同治十一年 壬申年九月吉日 前 地頭代石垣之上江洲 親雲上	『遺言之事』ノ条ノ 一節に曰ク		
10	工芸 染織工 (久米島之部) B	久米島古文書	〔覚当間切惣耕作方 当日下知方仕候次 第〕抜書キ			
10	工芸 染織工 (久米島之部) B	久米島古文書	「定役願書并被仰付 候御書付写」			
10	工芸 染織工 (久米島之部) B	「首里紬の染織に就 いて」首里市立女子 工芸学校	教科書か			
11	工芸 染織工 (久米島之部) C	〔球陽〕	卷之二十、尚瀬王、 二十八年辛卯 字根 親雲上			◎◎
11	工芸 染織工 (久米島之部) C	久米島古文書 (写)	仲里村字真謝「比屋 定周智氏」所蔵古文 書 (此書書名無し)	養蚕	仲里村字真謝「比屋 定周智氏」所蔵	
11	工芸 染織工 (久米島之部) C	久米島古文書 (写)	書附集	大美御殿からの注文 書?、口上覚	「道光拾三年癸卯五 月写之」とあり上部 に「乾隆四十七年記」	
11	工芸 染織工 (久米島之部) C	仲里村役場所蔵本	諸事規模帳 仲里間 切①		「道光十一年辛卯 十一月十二日」	
11	工芸 染織工 (久米島之部) C	仲里村役場所蔵本	役人定并職賦之事 (別冊仲原氏談話参 照)			
11	工芸 染織工 (久米島之部) C	仲里村役場所蔵本	久米仲里間切諸事公 事帳②		「道光十一年辛卯 十一月十二日」	

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
11	工芸 染織工(久米島之部) C	具志川村	「旧藩時代ノ我村ノ産業トシテハ・・・」		書名等記載無し	
11	工芸 染織工(久米島之部) C	[資料写]	具志川村字具志川(殿内) 一代儀問道真の経歴	具志川村字仲地(東殿内) 一代仲村渠昌興の経歴		
11	工芸 染織工(久米島之部) C	[資料写]	球陽	織工、紋様、堂大親、花布		◎◎
11	工芸 染織工(久米島之部) C	[資料写]	職制秘覧			○
11	工芸 染織工(久米島之部) C	[大城こわいにや考]	御欠略付諸問切諸嶋江申渡候條々(同治拾壹壬申十月) 城間村		「城間村字城間所蔵本」	
11	工芸 染織工(久米島之部) C	羽地按司仕置(「三本にて校合」とあり)			各本についての記載無し	○
12	工芸 染織工(宮古島之部) A	宮古島所遺座公事帳			「同治拾三年甲戌十二月 宮古嶋蔵許」	○
12	工芸 染織工(宮古島之部) A	宮古島勘定座公事帳			「同治拾三年甲戌十二月 宮古嶋蔵許」	○
12	工芸 染織工(宮古島之部) A	宮古島船手座例帳			「同治拾三年甲戌十二月」	○
12	工芸 染織工(宮古島之部) A	瓦奉行所例帳			「咸豊拾壹年辛酉五月」	
12	工芸 染織工(宮古島之部) A	家譜抜萃 他	李姓家譜支流	八世由雄 三番		
12	工芸 染織工(宮古島之部) A	家譜抜萃 他	平姓家譜正統	酒匂大蔵兵衛 染色		
12	工芸 染織工(宮古島之部) A	家譜抜萃 他	平姓家譜(系図)	三世景将 二十番		
12	工芸 染織工(宮古島之部) A	家譜抜萃 他	盛姓家譜大宗	坂元宗味入道 久米島に養蚕技術伝授		
12	工芸 染織工(宮古島之部) A	家譜抜萃 他	蔡姓家譜	九世政昌		
12	工芸 染織工(宮古島之部) A	家譜抜萃 他	小宗蔡氏家譜 十七番 上原親雲上	花布考		◎
12	工芸 染織工(宮古島之部) A	家譜抜萃 他	蔡姓家譜 二番 具志頭親雲上			◎
12	工芸 染織工(宮古島之部) A	[辞典抜萃]	『日本百科大辞典』	「蘇木」「蘇芳」		
12	工芸 染織工(宮古島之部) A	[辞典抜萃]	『大日本国語辞典』	「蘇芳」「蘇芳重」等		



ノート番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
12	工芸染織工 (宮古島之部) A	八重山嶋 記帳	嶽々旧式、嶋中旧式、 産屋旧式、元服婚礼 等		道光廿九年乙酉吉祥 月 忠順氏良用	
13	北部神座考	V元祖之由来記 宜 野湾真志喜村奥間門 中	ミントン、奥間大親	「古本書写」		
13	北部神座考	VII名嘉山大森氏手記	察度王-京阿波根			
14	原本 琉球国 由来記寺社坤 (聖)	沖縄島真言宗 寺院 建立由来及本尊縁起 集			「普天間山神宮寺所 蔵本」	○(琉球国真言 宗寺院建立由来 並本尊縁起)
14	原本 琉球国 由来記寺社坤 (聖)	琉球国由来記 諸 寺縁起 NO.11 共 二十一冊			「尚侯爵所蔵本」「大 正十五年十二月廿一 日校了」	○
14	原本 琉球国 由来記寺社坤 (聖)	聞得大君御殿并御城 御規式之御次第			「同治十四年乙亥三 月吉旦 尚家」	○
14	原本 琉球国 由来記寺社坤 (聖)	聞得大君加那志御新 下日記 大里間切			「道光二十年庚子 十二月」	○◎(尚本年号 不明)
15	聞得大君加那 志御新下日記 (b) 他	I(承前)聞得大君 加那志御新下日記 大里間切(ノート14 から続く)			304頁に「昭和二年 二月十一日ノ…」	○◎(尚本年号 不明)
15	聞得大君加那 志御新下日記 -	III知念玉城研究録	大島筆記(部分)	天女伝説、アマツハ		○
15	聞得大君加那 志御新下日記 -	III知念玉城研究録	『琉球入学見聞録』	卷之四「中山竹枝詞」		○
15	聞得大君加那 志御新下日記 -	IV久高島由来記	「遺老説伝対照」		「道光二十七年丁未 八月吉日」。親本記 載無し。	
15	聞得大君加那 志御新下日記 -	V佐銘川大ぬし由来 日記			「佐敷村役場所蔵本 …大清同治七年戊 辰閏四月写 佐敷間 切」「昭和二年四月 三日校正了」。伊波 文庫本に見られる系 図と「孫姓大宗家譜 序」が無い。	○
15	聞得大君加那 志御新下日記 -	VI馬姓家譜	「小禄親方」、与湾大 親の伝説			
15	聞得大君加那 志御新下日記 -	VI馬姓家譜	馬氏家譜 元祖馬良 詮 大浦添親方			
15	聞得大君加那 志御新下日記 -	VI馬姓家譜	馬姓家譜支流 与那 原親方	九世良矩		
15	聞得大君加那 志御新下日記 -	VI馬姓家譜	馬姓家譜 小禄親方	十二世馬克承	「島尻郡真和志村字 天久 小禄ナヘ氏」	

ノート番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
18	Miyako Kazumata	伊安氏系図家譜正統 皆川屋 松原仁也	伊良部渡中の大魚と 戦った豊見氏親		伊良部村字伊良部 伊安氏 下地方殿氏	[※この冊全般的に 絵図よりなる]
19	瀬長島神事研究録	覚(「大城山の事」とある)			出典不明	[※この冊全般的に 絵図よりなる]
20	[フィールドノート]	[大正十四年] 蕃人戸口簿	身体特徴(黥)、名、生年月日等		「昭和二年七月廿六日現在ノ帳簿ニ拠ル」	
21	[入墨ノ研究] [久米島研究資料]	I [入墨ノ研究]	奄美大島史 坂田徳太郎著 抜萃	482頁。針突についての部分	1921年6月刊 坂口徳太郎著	
21	[入墨ノ研究] [久米島研究資料]	I [入墨ノ研究]	仲宗根家所蔵本文身研究	刺文の種類・名称	「本書八十四三年十一月橋口島司ノ依[頼]ニ依リ調査差出シタルモノ、扣ナリ」	
21	[入墨ノ研究] [久米島研究資料]	I [入墨ノ研究]	資料抜萃	中山伝信録六(二十一頁)、沖縄志(一名琉球誌二、伊地知貞馨著、四十四頁)、魏志倭人伝、後漢書倭人伝、東汀随筆、ひるぎの一葉、入墨の考察、「覚」、琉球入学見聞録、南島探験(笹森儀助著、百二十八頁)		魏志倭人伝、後漢書倭人伝、入墨の考察、「覚」以外は○
21	[入墨ノ研究] [久米島研究資料]	II [久米島研究資料]	雑公事 (部分)	王子、三司官の服制		○、◎(「雑公事帳」)
21	[入墨ノ研究] [久米島研究資料]	II [久米島研究資料]	宮古島諸村公事帳部分		「同治十三年甲戌十二月」	○
21	[入墨ノ研究] [久米島研究資料]	II [久米島研究資料]	姑米島ニ於ケル称呼	(花木之名、草花之名、木之名、竹之名、酒之名、野菜之名、食物之名、鳥之名、魚之名、虫之名、類並変物之名、童之時戯集)	「光緒十一年乙酉八月七日写之 仲長氏比嘉周令」。「[註]コノ写本ハ「久米島」仲里村字真謝比屋定周智氏蔵スル所ナリ、久米島ニ於ケル日用語ヲ集録セリ、コノ書ハ光緒以前ニ出来タルモノノ如シ。」	

ノート番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
21	[入墨ノ研究] [久米島研究資料]	Ⅱ [久米島研究資料]	「八重山諸島の浦船の歌(上)」宮良當壯	新聞切抜き		
23	[雑ノート]		球陽			◎◎
23	[雑ノート]		那覇波ノ上梵鐘ノ研究			
23	[雑ノート]		毛姓世系図支流 家譜	十一世 懿 佐渡山里 之子親雲上		
23	[雑ノート]		「清明上河図記訓点 …」		出典不明	
23	[雑ノート]		中山世譜	「薩摩ノ琉球入り以後」		◎◎
23	[雑ノート]		琉球神道記	巻第一并序		○
23	[雑ノート]		琉球沿革志(下)	「尚寧王」「琉球国本朝へ来聘之記」		
23	[雑ノート]		琉球入貢紀略	「琉球使来れる」		○
23	[雑ノート]		琉球談	「日本ハ往来ノ始」	森嶋中良著 寛政2年	○
23	[雑ノート]		琉球見聞録(一名廃藩事件)		「大正三年…喜舎場朝賢編」。1914年	○
23	[雑ノート]		中山伝信録			○
23	[雑ノート]		琉球(国)事略		1790年桂山彩樹著	○(4～)
23	[雑ノート]		琉球人種論		伊波普猷著(琉球新報初出時と『古琉球』 <small>記載時のタイトルは「琉球人の祖先に就いて」</small> )	○
23	[雑ノート]		大日本地名辞書続篇 第二 琉球			
23	[雑ノート]		日本百科大辞典	「琉球語」	「伊波普猷氏」	
23	[雑ノート]		大日本地名辞書続編 台湾		「伊能嘉矩識」	
23	[雑ノート]		古琉球	文法に関する部分	伊波普猷著 1911年	○
23	[雑ノート]		中山集	「中山自了伝」	「閩陳元輔昌其著」	
23	[雑ノート]		琉球水路史		正しくは『南島水路誌』。柳植悦著 1873年	○
23	[雑ノート]		琉球の研究		加藤三吾著 初版 1906～7年	○
23	[雑ノート]		沖繩志		伊地知貞馨著 1877年	○

ノート番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
23	[雑ノート]		南島記事外篇		西村捨三著 1886年	○
23	[雑ノート]		羽地王子向象賢仕置書			○
23	[雑ノート]		統琉球国[志]略		清・齊鯤等輯	○
23	[雑ノート]		国頭郡志		『沖縄県国頭郡志』 1919年	○
23	[雑ノート]		薩摩と琉球		横山健堂著 1914年	○
23	[雑ノート]	帝国図書館蔵琉球資料目録	「帝国図書館ニアル必要ナル琉球史資料」	書名リスト		
23	[雑ノート]	[漆器・陶器の資料 抜萃]	琉球漆器考		石沢兵吾著 1889年	○
23	[雑ノート]	[漆器・陶器の資料 抜萃]	那覇由来記	「轆轤始りの事」	「康キ四拾八年己丑十一月」	○
24	[雑ノート]	[資料抜萃]	中山世鑑	察度王貢物の布		○○
24	[雑ノート]	[資料抜萃]	新参歌姓家譜・系図	一世積高～		
24	[雑ノート]	[資料抜萃]	秋姓世系図・家譜	七世柴富～		『那覇市史』資料 篇第1巻7「秋姓 家譜（伊地家）」
24	[雑ノート]	[資料抜萃]	阿姓世系図・家譜	五世守平、「瓦」につきての史料		
24	[雑ノート]	[資料抜萃]	阿姓世系図・家譜	十二世守理、「画家」		
24	[雑ノート]	[資料抜萃]	馬氏世系図・家譜	四世良安（南蛮船史料）、九世良矩・十二世良綱（型付史料）、八重山津波史料、江戸行、十三世良恭（百浦添史料・幕末琉使）		
24	[雑ノート]	[資料抜萃]	ハーリー歌	印刷物切抜き		
24	[雑ノート]	[資料抜萃]	久高島のこえにや		出典不明	
24	[雑ノート]	[資料抜萃]	「袋中上人と儀間真常と野国総管」（新聞切抜）			
24	[雑ノート]	[資料抜萃]	陳侃使録、稗官雑記	陳侃使録、稗官雑記		陳侃使録○
24	[雑ノート]	[資料抜萃]	向姓家譜	一世朝里 北谷王子（尚巴志王墳墓の研究）		
24	[雑ノート]	[資料抜萃]	位階口割並褒美物規模			◎（位階歳割褒美物規模帳）
24	[雑ノート]	[資料抜萃]	毛姓家譜	一世栄重 兼城親方		
24	[雑ノート]	[資料抜萃]	毛氏家譜（墓ノ模字ニツキテノ研究）	六世盛長 豊見城親方		

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
24	[雑ノート]	[染織・陶業研究メモ]	衣裳模様の文献	書名リスト		
24	[雑ノート]	「こゑにや」	大城こゑにや、兼城こゑにや、うりづみこゑにや、等		出典不明。『こゑにや やらし』（伊波文庫所蔵、成立未詳）と歌謡の順序、注記等同じ。これからの筆写か。	
24	[雑ノート]	「こゑにや」	つらね	恋の状、右の返事、那覇宿のあつさ、等	出典不明	
24	[雑ノート]	京太郎の歌	1 扇子舞	歌詞と注記	出典不明	
24	[雑ノート]	京太郎の歌	2 御知行	歌詞と注記	出典不明	
24	[雑ノート]	京太郎の歌	3 鳥さし舞	歌詞と注記	出典不明	
24	[雑ノート]	大沢岬の研究	元祖日記	沢岬家の系譜	出典不明	
24	[雑ノート]	大沢岬の研究	鄧姓家譜序			
24	[雑ノート]	大沢岬の研究	高嶺朝教氏家譜 向姓家譜			『那覇市史』資料篇第1巻7「向姓家譜（高嶺家）」
24	[雑ノート]	琴瑟伝来ノ史料	翁姓世系図 家譜	五世盛淳		
24	[雑ノート]	潮流ノ研究	翁姓世系図 家譜	九世盛口		
24	[雑ノート]	潮流ノ研究	尚氏世系図	十二世有恒		
24	[雑ノート]	茶道研究資料	翁姓世系図	四世盛方	「玉城盛康氏家譜」	
24	[雑ノート]	茶道研究資料	尚姓大宗家譜	一世尚図	「浦添朝頭氏家譜」	
24	[雑ノート]	染料の研究	譜代諒姓家譜正統	新参一世是善		
24	[雑ノート]	染料の研究	新村出著『南蛮更紗』			
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	古今琉歌集（部分）			○
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	南方紀伝			
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	朝鮮史			
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	室町紀略			
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	続本朝通鑑			
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	海東諸国記			
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	おもろさうし	巻7-12		○○
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	台湾島史		「リース」	
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	日本医学史		「富士川博士著」	
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	琉球神道記	巻5		○
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	南蛮寺物語			

ノート番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	大日本地名辞書			
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	知念積清氏 紺屋			
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	南島水路誌	島々の記述	柳橋悦編輯 1873年。 「本書ハ内閣文庫第二九四〇七輯ヨリ写 / 沖縄県立図書館蔵 □□」	
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	琉球入学見聞録	卷之四「琉球三十六島図歌」	1764年 潘相著	○
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	久米村記		「官生 蔡世昌」	
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	那覇由来記	「砂糖鬱金仕上始」 「普天間詣之始」等	「康熙四拾八年己丑十一月」	○
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	久米村風水考			
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	[諸書目録]	1. 諸役場日記之部(貝摺奉行所日記) 2. 絵図之部(玉陵之図一枚) 3. 薨御日記之部(尚瀬様薨御) 4. 尚家表二階重要図書目録(甲「故〔古?〕事集」「碑文記」。丙「さやは御嶽二関する書」)	書名のみ列挙	◎
24	[雑ノート]	[諸書抜萃]	教育研究(第三百号)	「科学に就て」(理学博士藤原咲平)	「大正十五年三月一日発行」	
25	[雑ノート]	「沖縄」および「琉球」という名称に関して	隋書 元史			
25	[雑ノート]	鑑真	続日本紀			
25	[雑ノート]	東大和上東征伝			「群書類従卷第六十九より」	
25	[雑ノート]	[フィールドノート・宮古]	白川氏家譜	与那覇豊見親ニツキテ		
25	[雑ノート]	[フィールドノート・八重山]	長興姓系図家譜小宗	八世善繁 九世善功		
25	[雑ノート]	[フィールドノート・八重山]	権現堂建築家家譜	錦芳氏家譜 十一世用庸		
25	[雑ノート]	[フィールドノート・八重山]	津波ニツキテノ資料	「覚」	出典不明	
25	[雑ノート]	[フィールドノート・八重山]	毛裔姓家譜	十世安宣	字登野城 宮良安宣氏	

ノート番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
25	[雑ノート]	[フィールドノート・八重山]	上官姓家譜	九世正房		
25	[雑ノート]	[フィールドノート・八重山]	彫刻家玻座真兄弟記	朝勤氏世系図 五世忠利 六世忠智		
25	[雑ノート]	[フィールドノート・八重山]	権現堂改築ノトキノ作家	喜舎場父子家系 十四世用安 十三世用英		
25	[雑ノート]	[フィールドノート・八重山]	グダウシュマイに関するメモ	家系		
25	[雑ノート]	[フィールドノート・真和志村]	伊良皆親雲上家譜	七世盛昆	島尻郡真和志間切安里 伊良皆チルー氏	
25	[雑ノート]	他、刊本抜萃	英訳 古事記		チェンバレン 飯田永夫訳	
25	[雑ノート]	新聞切抜き	「円覚寺壁画と石嶺傳莫」「崎山親雲上喜俊李基昌」		掲載紙・日時不明	
25	[雑ノート]	首里市鳥堀町按司翁碑文			「大明弘治十四年」	
25	[雑ノート]	「古琉球『紅型』衣裳展覧会目録」	伊波普猷による解説あり		「昭和三年一月二十五日ヨリ二十九日マデ於銀座松屋呉服店主催 有尾江臯堂 石原求龍堂」	
26	[雑ノート]		碑文	国王頌徳碑、百浦添之欄干之銘	出典不明	
26	[雑ノート]	資料抜萃	女官御双紙(八重山征伐に関する部分)			◎◎
26	[雑ノート]		おもろさうし 21 卷 八重山征伐のオモロ			◎◎
26	[雑ノート]		伊波普猷氏蒐集語彙		出典不明	
26	[雑ノート]	混効験集 (57p)				○
26	[雑ノート]		ようどれの碑文(表)。極楽山之碑文(裏)			
26	[雑ノート]	与那国文字	「与那国島通用字符」		「笹森儀助著南島探験記ヨリ転載」	○
26	[雑ノート]	資料抜萃(神話に関して)	おもろさうし むかしはぢめからのふし			◎◎
26	[雑ノート]	資料抜萃(神話に関して)	中山世譜			◎◎

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
26	[雑ノート]	資料抜萃（神話に して）	中山世鑑			◎◎
26	[雑ノート]	資料抜萃（神話に して）	古宇利島			
26	[雑ノート]	資料抜萃（神話に して）	宮古島旧記			○
26	[雑ノート]	音楽資料抜萃	東汀随筆	「絃歌の統相続の事」	1913年東京・球陽堂 出版	○
26	[雑ノート]	音楽資料抜萃	続東汀随筆			
26	[雑ノート]	資料抜萃	おもろさうし巻二 (部分)			○、(尚家本二卷 欠)
26	[雑ノート]	資料抜萃	琉球神道記抜書	「天久権現ノ事」「天 女銘苺子ト奇縁ノ由 来」		○
26	[雑ノート]	資料抜萃	向氏家譜	十二世朝喬		那覇市史資料篇 第1巻7「向姓 家譜（湧川家）
26	[雑ノート]	資料抜萃	向氏家譜	一世朝理 越来王子		
26	[雑ノート]		金武家家譜	「御殿を訪ふ 自了 を江戸に紹介したる 朝貞金武王子の記録 を得たり」		
26	[雑ノート]		慎思九家譜			
26	[雑ノート]		呉著音家譜	呉姓家譜支流 八世 政賀		
26	[雑ノート]	呉姓家譜 小宗	八世宗未			
27	[雑ノート]	(尚姓大宗家譜)	一世尚和 読谷山王 子			
27	[雑ノート]	札御改表			「雍正七年己酉」。出 典不明	
27	[雑ノート]	琉球数学解説書			「大正六年九月十五 日著 首里儀保伊是 名氏ヨリ伝拜 先祖 ハ支那ヨリ伝来」	
28	[雑ノート]	[家譜資料]	尚姓世系図	十一世朝富、十世朝 昆、四世朝長		
28	[雑ノート]	[家譜資料]	向姓世系図	九世向龍光 垣花親 雲上		
29	書籍目録 [尚 家蔵]	御蔵本目録	歴史類、式典類、法 政類、冠船之時向ノ 諸帳、中城王子様御 上国之御時向ノ諸帳		「明治四十三年九月」	◎



ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
29	書籍目録〔尚 家蔵〕	書籍目録 目録数193 冊数565			「明治四十三年九月 二日調部」	
29	書籍目録〔尚 家蔵〕	書籍目録			「大正九年九月改正」	
30	No.1 琉球国 由来記年中祭 祀 全	1. 城中御嶽併首里中 No.5 共二十一冊				◎◎
30	No.1 琉球国 由来記年中祭 祀 全	2. 泊村由来 No.7 共二十一冊				◎◎
30	No.1 琉球国 由来記年中祭 祀 全	3. 那覇由来記 No.8 共二十一冊				◎◎
30	No.1 琉球国 由来記年中祭 祀 全	4. 宮古島 No.20 共二十一冊				◎◎
30	No.1 琉球国 由来記年中祭 祀 全	5. 八重山島（開闢之 事・御嶽由来・作船 由来・蔵元由来）年 中祭 No.21 共二十一 冊（「本文は別冊所 蔵」とあり、本文記 載なし）				◎◎
30	No.1 琉球国 由来記年中祭 祀 全	6. 伊江島嶽々、伊平 屋島嶽々 No.16 共 二十一冊				◎◎
30	No.1 琉球国 由来記年中祭 祀 全	7. 粟国島、鳥島、渡 名喜島 年中祭祀之 事 No.17 共二十一 冊				◎◎
30	No.1 琉球国 由来記年中祭 祀 全	8. 慶良間島年中祭 祀之事 No.18 共 二十一冊				◎◎
31	No.2 琉球国 由来記年中祭 祀 全	1. 慶良間島年中祭 祀之事（ノート30-8 の続き）				◎◎
31	No.2 琉球国 由来記年中祭 祀 全	2. 久米島（城主由来 嶽々堂の大屋）No.19 共二十一冊				◎◎

ノート番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
31	No. 2 琉球国由来記年中祭祀全	3. 真和志、豊見城、小禄、兼城、高嶺、真壁、摩文仁、喜屋武、諸殿嶽々 No. 12				○○
31	No. 2 琉球国由来記年中祭祀全	4. 南風原、大里、東風平、具志頭、佐敷、知念、玉城嶽々由来 No. 13 (ノート32-1へ続く)				○○
32	琉球国由来記	1. 南風原、大里、東風平、具志頭、佐敷、知念、玉城嶽々由来 No. 13 (ノート31-4から続く)				○○
32	琉球国由来記	2. 西原、浦添、宜野湾、中城、越來、美里、北谷、具志川、勝連、与那城、読谷山、諸殿嶽々 No. 14 共二十一冊				○○
32	琉球国由来記	3. 恩納、金武、名護、本部、今帰仁、羽地、久志、大宜味、国頭、祭祀之事 (ノート33A-1へ続く) No. 15				○○
33A	No. 4 琉球国由来記年中祭祀全	1. 恩納、金武、名護、本部、今帰仁、羽地、久志、大宜味、国頭、祭祀之事 (ノート32-3より続く)			「大正十五年十二月十三日尚侯爵家ニテ原本ト校合了」	このすぐあとに「伊平屋島旧記」。○○
33A	No. 4 琉球国由来記年中祭祀全	2. 琉球国由来記 官職位階之事				「伊平屋島旧記」の後にあり。○○
33A	No. 4 琉球国由来記年中祭祀全	3. 琉球国由来記 (天地門、居処門、衣服門、動植門、飲食門、財器門、典制門、文教門) No. 3 事始乾 (「典制門」本文なし) 共二十一冊				○○
33A	No. 4 琉球国由来記年中祭祀全	4. 琉球国由来記 (人事、礼楽、伎術、宝貨、釈門、遊戯、生類) No. 4				○○

ノート番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
33A	No. 4 琉球国由来記年中祭祀 全	5. 琉球国由来記 国廟地理記 No. 6 共二十一冊 (目録のみ、本文欠く)				◎◎
33A	No. 4 琉球国由来記年中祭祀 全	6. 琉球国由来記 唐榮旧記 No. 9 共二十一冊			「大正十五年十二月廿一日校了」	◎◎
33B	伊平屋島旧記 (雍正四年丙午四月)	伊平屋島旧記 雍正四年丙午四月	(1. の次にある)		『琉球国由来記』とは別内容。冒頭に「雍正四年丙午四月」末尾に「校合了」とある。	○
34	琉球国由来記	1. 琉球国由来記 王城之公事 No. 1 共二十一冊				◎◎
34	琉球国由来記	2. 琉球国由来記 官職位階之事 No. 2 共二十一冊			「康熙五十二年癸巳十一月吉旦」	◎◎
34	琉球国由来記	3. 琉球国由来記 (天地門、居処門、衣服門、動植門、飲食門、財器門、典制門、文教門) 事始乾 No. 3 共二十一冊 (続きはノート 35A-1 へ)				◎◎
35A	No. 3 琉球国由来記年中祭祀 全	1. [ 琉球国由来記 (天地門、居処門、衣服門、動植門、飲食門、財器門、典制門、文教門) (ノート 34-3 からの続き) ]				◎◎
35A	No. 3 琉球国由来記年中祭祀 全	2. 琉球国由来記 事始坤 (人事、礼楽、伎術、宝貨、釈門、遊戯、生類)				◎◎
35B	稲之二御祭公事 勢頭方 (尚侯爵家所蔵本)	稲之二御祭公事 勢頭方 (嘉慶七年壬戌正月成立・道光六年丙戌正月書替・同治四年乙丑十二月書替)			「尚侯爵家所蔵本」。『琉球国由来記』とは別資料。	『御蔵本』にこの書名無し。
35C	御願御双紙 勢頭方 (尚侯爵家所蔵本)	御願御双紙 勢頭方 (道光十九年亥正月十九日・咸豊十年庚申十月書替)			「尚侯爵家所蔵本」	

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
36	琉球国由来記 社寺乾(禅) 禅門一	諸寺重修記 併 造改 諸僧縁由記			「浦添御殿」。「以下『琉球国由来記』二ハナシ」として「当山加記」あり。	『琉球国由来記』 卷十の記事と同 一。 ○(～4)
36	琉球国由来記 社寺乾(禅) 禅門一	〔他資料〕	龍福寺本尊仏文殊菩薩由来紀			
36	琉球国由来記 社寺乾(禅) 禅門一	〔他資料〕	波上宮御由緒略記		「官幣小社波上宮社務所」	
36	琉球国由来記 社寺乾(禅) 禅門一	〔他資料〕	群書類従卷第七十一 官職部二	職原鈔		
36	琉球国由来記 社寺乾(禅) 禅門一	〔他資料〕	普天間山三社並神宮 寺			
36	琉球国由来記 社寺乾(禅) 禅門一	球陽抜萃	球陽卷三、卷之一、 卷之二	寺院関係、八重山征 伐、神人、創世神話、 舜天～尚思紹等		○○
36	琉球国由来記 社寺乾(禅) 禅門一	家譜抜萃	呉師賢山口親雲上宗 季			
36	琉球国由来記 社寺乾(禅) 禅門一	家譜抜萃	馬姓家譜	八世良康平良親方 (円覚寺研究資料)		
36	琉球国由来記 社寺乾(禅) 禅門一	家譜抜萃	毛氏家譜	中城按司護佐丸(中 古史研究資料)		
36	琉球国由来記 社寺乾(禅) 禅門一	家譜抜萃	毛姓家譜 譜久村親 雲上安濟			
36	琉球国由来記 社寺乾(禅) 禅門一	家譜抜萃	平姓家譜(友寄筑登 之親雲上)	七世景保		
36	琉球国由来記 社寺乾(禅) 禅門一	家譜抜萃	慎姓家譜(泉川筑登 之)	八世寛英		
36	琉球国由来記 社寺乾(禅) 禅門一	家譜抜萃	馬姓家譜 支流(豊 平親雲上)	十世執宏		
36	琉球国由来記 社寺乾(禅) 禅門一	家譜抜萃	和姓家譜 支流 賀 数筑登之親雲上	七世景長		
36	琉球国由来記 社寺乾(禅) 禅門一	琉球国由来記 諸 寺旧記序 記事共 二十一冊(2p)			(本文は2pのみあり。 散逸か)	
37	古事集 評定 所 丑日 共 十三冊	1. 首里三州			「尚侯爵家所蔵本」	
37	古事集 評定 所 丑日 共 十三冊	2. 順治康熙 王命書 文			”	
37	古事集 評定 所 丑日 共 十三冊	3. 馬齒山、粟国山、 渡名喜、鳥島			”	

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
37	古事集 評定 所 丑日 共 十三冊	4. 姑米島 (前半)			"	
38	古事集	(姑米承前)			"	
38	古事集	5. 麻姑島			"	
38	古事集	6. 八重山			"	
38	古事集	7. 島尻 真和志郡、 豊見城郡			"	
39	[古事集]	(島尻承前) 小禄			"	
39	[古事集]	8. 島尻 (兼城郡、高 嶺郡、真壁郡、摩文 仁郡、喜屋武郡、)			"	
39	[古事集]	9. 島尻 (南風原郡、 大里郡、東風平郡)			"	
39	[古事集]	10. 島尻 (佐敷郡)			"	
40	古事集	(島尻承前) 知念郡、 玉城郡、具志頭郡			"	
40	古事集	11. 中頭 (西原郡、 浦添郡、宜野湾郡、 中城郡)			"	
40	古事集	12. 中頭 (越来郡、 美里郡)			"	
41	古事集	(中頭承前) 北谷郡、 具志川郡、勝連郡、 与那城郡、読谷山郡			"	
41	古事集	13. 国頭 (恩納郡、 金武郡、名護郡、本 部郡、今帰仁郡、羽 地郡、久志郡、大宜 味郡)			"	
42	古事集	(国頭承前) 国頭郡			"	
42	古事集	古事集 全 13 冊の 目録			"	
43	琉球国中山世 鑑 序共原 六本完	1. 琉球国中山世鑑 序 共六冊			「昭和二年十月九日 校了/尚侯爵家所蔵 本」	○
43	琉球国中山世 鑑 序共原 六本完	2. 琉球国中山世鑑 一卷 共六冊			尚侯爵家所蔵本	○
43	琉球国中山世 鑑 序共原 六本完	3. 琉球国中山世鑑 二巻 共六冊			"	○
43	琉球国中山世 鑑 序共原 六本完	4. 琉球国中山世鑑 三巻 共六冊			"	○
43	琉球国中山世 鑑 序共原 六本完	5. 琉球国中山世鑑 四巻 共六冊			"	○

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
43	琉球国中山世鑑 序共 原六本完	6. 琉球国中山世鑑 五巻 共六冊			"	○
43	琉球国中山世鑑 序共 原六本完	江戸立之時仰渡并応答之条々之写 (ノート44-1へ続く) {ノート44と合42P (ノート43では27p) 図14枚}			「沖縄県立図書館蔵本〈原本〉」	
44	(承前) 江戸立之時仰渡并応答之条々之写	(承前) 江戸立之時仰渡并応答之条々之写 (15p) (ノート43より続く。あわせて42p、図14枚)			"	
44	(承前) 江戸立之時仰渡并	道光式拾八年戊寅五月御即位被遊候付聖廟江三司官御使を以御告祭之次第 聖廟 (7p)				
44	(承前) 江戸立之時仰渡并	咸豊九年己未寺社座御規模 義村御殿 (29p)			冒頭の「目録」と『沖縄一千年史』の引用記事が対応。	○
44	(承前) 江戸立之時仰渡并	大清康熙四拾三年甲申より御條書写日本宝永元年 (17p)	染色資料		「琉球史料三十五」	
44	(承前) 江戸立之時仰渡并	大清康熙四拾三年甲申より御條書写日本宝永元年 (17p)	切支丹宗門改			
44	(承前) 江戸立之時仰渡并	切支丹宗禁止其他の御條書 (7p)			「琉球史料三十六」	○
44	(承前) 江戸立之時仰渡并	琉球史料十三 貿易二関スル史料 (7p)			「琉球史料十三」	
45	中山世譜 附巻	中山世譜 附巻			*「原本ニテ校訂ス (尚侯爵家所蔵本)」	○
46	琉球国旧記 他	琉球国旧記 附巻三、四、一、二、八、九、十一 (40p)			「大正十五年十二月廿一日校了」.* 順序は①旧記三、四 ②球陽 ③旧記一、二、八、九、十一。	○○
46	琉球国旧記 他	球陽 [天象異変及宗教関係記事抜萃] (43p)			* 順序は①旧記三、四 ②球陽 ③旧記一、二、八、九、十一。	○○
47	球陽 外巻二、三 他	球陽 外巻二、三 遺老説伝 (20p)			* 順序は①旧記三、四 ②球陽 ③旧記一、二、八、九、十一。	○○

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
47	球陽 外巻二、 三 他	[史料抜萃] (合12p)	1. 琉球国史略(抜萃) (6p)		「官版・・・天保二年 彫」	○
47	球陽 外巻二、 三 他	[史料抜萃] (合12p)	2. 東姓家譜 大宗 (6p)	元祖開極 東風平親 方。和文の辞令書あ り。		那覇市史資料編 第1巻7「東姓 家譜(津波古家)
47	球陽 外巻二、 三 他	諸御拝御双紙 勢頭 方 (33p)			「尚侯爵家所蔵本」	
48	球陽 附巻一、 二、三、他	球陽 附巻一、二、 三 (37p)			「久米具志川村字西 銘石垣殿内所蔵本ニ 拠ルく尚敬王時代ノ モノカ」	◎◎
48	球陽 附巻一、 二、三、他	崇元寺国王廟記(12p) 〔崇元寺研究資料〕	修造宗廟文、蓋瓦宗 廟文、重修国王廟記、 重修国廟文			
48	球陽 附巻一、 二、三、他	江戸立方日帳 (39p) (表紙に「進貢期ニ付 ・・・」まで合本と書き 込みあり)			「寛政二年戊五月 十一日より同六月晦 日迄 鹿兒島三番 /郡奉行琉球館聞役 益山金左衛門。」「沖 縄県立図書館所蔵写 本ニ拠ル」	(江戸立方日帳 御状案書渡唐 衆江相渡候書付 留)
48	球陽 附巻一、 二、三、他	御状案書 評定所 (外交文書) (9p)			「道光貳拾六より同 三拾戌年迄」	(同上)
48	球陽 附巻一、 二、三、他	渡唐衆江相渡候書付 留 巳日番 (4p)			「康熙廿二年癸亥よ り同」	(同上)
48	球陽 附巻一、 二、三、他	進貢期ニ付渡唐之一 統 評定所 延宝八 年 九番 (康熙拾九 年庚申) (1p)			「延宝八年 九番 (康 熙拾九年庚申)」	
48	球陽 附巻一、 二、三、他	帰唐船覚語條々抜書 (3p)	対支貿易資料			
48	球陽 附巻一、 二、三、他	唐船江抜商之儀ニ付 御条書写 (5p)				
49	碑文記 全(尚 侯爵家所蔵本)	碑文記 全	「原本ニナシ」とい う部分あり		「尚侯爵家所蔵本」	
50	(碑文記 承前) *表題は「碑 文集」となっ ているが改め た	碑文記 承前			同上	
50	(碑文記 承前 一)	沖縄島宮古島在番記 (抜萃) (22p) *表題 は「旧慣調」とある がノート第1頁の表 題に改めた	「旧慣調 旧慣書類 目録」			『平良市史』第 3巻資料編1 (1981)所収

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
50	(碑文記 承前 ー)	沖縄島宮古島在番記 (抜萃) (22p) *表題 は「旧慣調」とある がノート第1頁の表 題に改めた	沖縄島宮古島在番記			
50	(碑文記 承前 ー)	球陽[抜萃](合33p)	1. 近世ニ於ケル欧 米諸国ノ船舶渡来記 (15p)			◎◎
50	(碑文記 承前 ー)	球陽[抜萃](合33p)	2. 位階、服飾 (18p)			◎◎
51	御財制(沖縄 県立図書館蔵 本ニ拠ル)	御財制 (46p)			「沖縄県立図書館蔵本 ニ拠ル[康熙五十四 年編ナルベシ]」	(御財制)
51	御財制ー	職制秘覧			「最後ノ文書ニ記載 スル年号ハ同治拾壹 年申正月ナリ」	○
51	御財制ー	渡唐銀其他に関する 令達 (4p)			「琉球史料三十四」	
51	御財制ー	諸所へ相渡候御高札 相図火書付写 異国 方御物			「康熙廿九年」「琉球 史料三十一」	
51	御財制ー	勅使応答訓令 (5p)	「(從東京不図御使 者御渡海之時御尋可 相掛事々御返答之心 得)」			
51	御財制ー	今帰仁間切公事帳 (2p)	「唐船并異国船公事」 ノ条 (抜萃)			○
52	琉球国中山王 府官制 全 [・正議太夫臣 蔡応瑞・紫金太夫 臣 蔡鐸・正議太夫 臣 程順則]	琉球国中山王府官制 全 [・正議太夫臣 蔡応瑞・紫金太夫 臣 蔡鐸・正議太夫 臣 程順則] (26p)			「康熙四十五年八月 初八日」。冒頭に「校 了」とある。	原本は東京大学 史料編纂所、複 製本は県内の図 書館などに所蔵。 ○
52	琉球国中山王 府官制ー	[諸史料抜萃] (合42p)	1. 八重山島藏元公事 帳 (抜萃) (5p)			○
52	琉球国中山王 府官制ー	[諸史料抜萃] (合42p)	2. 八重山島諸村公事 帳 (抜萃) (2p)		「同治十三年甲戌 十二月」	○
52	琉球国中山王 府官制ー	[諸史料抜萃] (合42p)	3. 八重山島御規模帳 (抜萃) (1p)		「同治十三年甲戌 十二月」	○



ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
52	琉球国中山王 府官制一	[諸史料抜萃] (合 42p)	4. 久米仲里間切公事 帳 (抜萃) (4p)		「道光十一年辛卯 十一月十二日」	○
52	琉球国中山王 府官制一	[諸史料抜萃] (合 42p)	5. 八重山島旧記 (抜 萃) (15p)	「別冊琉球史料五五 参照 (主トシテ織工 資料)」		
52	琉球国中山王 府官制一	[諸史料抜萃] (合 42p)	6. 宮古島蔵許公事帳 (抜萃) (6p)。上部 に「制度」とある。		「同治十三年甲戌 十二月」	○
52	琉球国中山王 府官制一	[諸史料抜萃] (合 42p)	7. 宮古島諸締帳 (抜 萃) (8p)	儉約定		
52	琉球国中山王 府官制一	[諸史料抜萃] (合 42p)	8. 旧藩民誓約血判書 宮古島 (抜萃) (1p)			○
52	琉球国中山王 府官制一	[諸史料抜萃] (合 42p)	与那覇勢頭豊見親逗 留旧跡 乾隆三十二 年丁亥九月吉旦正統 恵政謹立		「琉球史料五五『宮 古島研究資料脱漏ノ 分』」	
52	琉球国中山王 府官制一	御涼傘御用之条例 (戊子七月) (3p)			「尚侯爵家蔵本」	
52	琉球国中山王 府官制一	冠服定 (19p)			「(大正十四年十二月 七日記載)」	○
52	琉球国中山王 府官制一	位階定 (14p)				○
52	琉球国中山王 府官制一	注文扣 下庫理酉日 方 (1p)			「道光十四年甲午正 月」	
52	琉球国中山王 府官制一	調文扣 (1p)				
53	琉球歴代国王 世統事功	[琉球歴代国王世統 事功]				○
53	琉球歴代国王 世統事功	[諸史料抜萃]	1. 球陽 对支史資料 (抜萃)			○○
53	琉球歴代国王 世統事功	[諸史料抜萃]	2. 球陽 服飾位階			○○
53	琉球歴代国王 世統事功	[諸史料抜萃]	3. 朝鮮史 海行摠載 一 (抜萃) (8p)		朝鮮群書体系続々第 三集 朝鮮古書刊行 会	
53	琉球歴代国王 世統事功	[諸史料抜萃]	4. 朝鮮史 東史綱目 四 (抜萃) (2p)		朝鮮群書体系続々第 十八集 朝鮮古書刊 行会	
54	琉球冊封使一件	琉球冊封使一件 完 (40p)	1. 冠船付諸事勤方 並 勅使方々被差越次 第			◎ (冠船付諸事 勤并勅使方々へ 御差越被候次第 日記)

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
54	琉球冊封使一件	琉球冊封使一件 完 (40p)	2. 論祭文之時供物帳			◎ (論祭之時御供物帳)
54	琉球冊封使一件	琉球冊封使一件 完 (40p)	3. 勅使以下献立并棹之図			◎ (勅使以下へ御献立并卓之図)
54	琉球冊封使一件	琉球冊封使一件 完 (40p)	4. 冠船付拝領物并献上物帳			◎ (拝領物并献上物帳)
54	琉球冊封使一件	琉球冊封使一件 完 (40p)	5. 天使字蹟集		「本書ハ内閣文庫第二〇三五七号ヨリ写／大正五年八月 校合了」	
54	琉球冊封使一件	[諸資史料抜萃] (合40p)	1. 戊寅冠船日記〔戊冠船日記か?〕 (3p)		冒頭に「戊冠船」とあり「寅ノ冠船ノトキモ同ジ」と注記が見られる。	◎
54	琉球冊封使一件	[諸資史料抜萃] (合40p)	2. 同治五年丙寅三月御冠船日記 (11p) (1866年尚泰王の冊封式典後の余興芸能)			◎
54	琉球冊封使一件	[諸資史料抜萃] (合40p)	3. 琉球史料十三 (3p)			
54	琉球冊封使一件	[諸資史料抜萃] (合40p)	4. 使琉球記 李鼎元撰 (「別冊補遺」とある) (4p)		尚温王の冊封副使李鼎元著 1800年来島	○
54	琉球冊封使一件	[諸資史料抜萃] (合40p)	5. 琉球国志略 卷之十一 (全) (19p)		尚穆王の冊封副使周煌編 1757年	○
55	同治五年 勅使以下唐人より国王并嫡子且王子以下役々江進物帳	同治五年 勅使以下唐人より国王并嫡子且王子以下役々江進物帳 評定所 (48p)			「琉球史料二十二」	
55	同治五年 勅使以下唐人より-	琉球使者記 / 琉球書簡并使者接待楽章 (28p) (省略あり)			「本書ハ内閣文庫蔵書内第三一四ヨリ写ス / 大正五年八月十日 校合了」	
55	同治五年 勅使以下唐人より-	唐歌唐踊集 / 乾隆六十一年丙辰江戸立大宜味王子 屋部・大田 (18p)				○
56	紋様 A	1. 宮古島諸物代付帳 (35p)			「同治十三年甲戌十二月」	○

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
56	紋様 A	2. 雍正六年戊申三月廿一日 一、諸品定代付 (3. と合わせて 76p)			「県立図書館所蔵写本」	
56	紋様 A	3. [雍正六年戊申三月廿一日] 一、同有取付			「県立図書館所蔵写本」	
57	紋様 B (紋様 A ヨリ続ク)	道光貳拾五年乙巳三月吉日 野菜着有所節付并代付帳 (30p)			「道光貳拾五年乙巳三月吉日」	
57	紋様 B (紋様 A ヨリ続ク)	植物一覧 和名・琉名 (14p)				
57	紋様 B (紋様 A ヨリ続ク)	魚類一覧他 (4p)				
57	紋様 B (紋様 A ヨリ続ク)	中頭方取納座定手形 (18p)	伊平屋研究資料		「県立図書館蔵本」	
57	紋様 B (紋様 A ヨリ続ク)	明治三十七年甲辰旧十月十五日よきやのろくもい由来並家譜 (3p)	八世 比嘉正行			○ (~ 4)
57	紋様 B (紋様 A ヨリ続ク)	明治廿五年八月吉日よきやのろくもい伝来記 (19p)				○ (~ 4)
57	紋様 B (紋様 A ヨリ続ク)	明治三十五年九月十五日よきやのろくもい御鍔拝後新拝日記 (11p)			「添石村のろ殿内比嘉正行」	
57	紋様 B (紋様 A ヨリ続ク)	よきやのろくもい死亡并拜命之時日記明治三十三年一月八日 (5p)			「添石村のろ殿内」	
57	紋様 B (紋様 A ヨリ続ク)	印刷物添付 (三葉)	番外第廿九号 明治十四年十月廿七日 沖縄県令 上杉憲茂		出典不明	
57	紋様 B (紋様 A ヨリ続ク)	印刷物添付 (三葉)	甲第百三十号 明治十四年十二月廿七日 沖縄県令 上杉憲茂		出典不明	
58	紋様 C (紋様 B ヨリ続ク)	・(よきやのろくもい死亡并拜命之日記承前) (2p)			「添石村のろ殿内」	
58	紋様 C (紋様 B ヨリ続ク)	・同治拾壹年壬申十月御欠略付諸問切諸嶋江申渡候 (3p)	條々 城間村 (「染織工 久米島之部 C 参照」とあり)			○ (咸豊七年) ◎ (城間村は不明)

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
58	紋様C(紋様B ヨリ続ク)	・光緒六年庚辰九月 吉旦写之御菓子并 萬例帳 与那城御 殿(表紙には「抜萃」 とある)(40p)				
59	王子衆以下娘 婚礼之時衣類 并諸道具定 評定所	王子衆以下娘婚礼之 時衣類并諸道具定 評定所(7p)				○
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	御欠略二付旅衆江 申渡候條々 評定所 (3p)			「同治十一年壬申年 ノモノナリ」とある	○
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	雑公事(抜萃)(合 41p)	1. 王子位浮織三司官 座紫官并安駄御免言 上		「県立図書館所蔵原 本」	
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	雑公事(抜萃)(合 41p)	2. 地頭所新知加増知 并隠居家督言上但猶 子願籠(3p)			
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	雑公事(抜萃)(合 41p)	3. 聞得大君御殿御妃 御殿大美御殿中城御 殿並王子按司三司官 大親役以下赤頭奉行 行人言上(2p)	「宗教ニ関ス琉球古 来ノル資料神道」		
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	雑公事(抜萃)(合 41p)	4. 出家隠居寺代鑑司 并祝部代合(7p)	「備考 宗教ニ関ス ル資料」	「コノ項ハ少シモ脱 漏ナシ」	
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	雑公事(抜萃)(合 41p)	5. 御印判諸氏系図御 朱印居并首尾方(2p)	「官制、位階ニ関ス ル資料(別冊中山王 府官制参照)」		
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	雑公事(抜萃)(合 41p)	6. 聞得大君御殿江御 結願(6p)	「聞得大君御殿ニ対 スル航海者ノ信仰 琉球古来ノ神道研究 資料」		
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	雑公事(抜萃)(合 41p)	7. 撫髮剃髮願并剃髮 之方唱僧片髮(1p)	「服飾ニ関スル資料」		
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	雑公事(抜萃)(合 41p)	8. 萬寄物(8p)	「琉球文化史原論 漂着物ニ関スル資 料」「信仰ニ関スル 資料 聖現寺仏像銘 参照」		◎(萬寄物帳)
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	雑公事(抜萃)(合 41p)	9. 出火(4p)	「御城中出火」「聞得 大君御殿出火」「三 ヶ寺出火」「御後絵 資料」		

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	雑公事（抜萃）（合 41p）	10. 乾隆廿八年癸未 十月神歌人数代合之 事（2p）	「紋様資料 歌謡考 中 オモロ」		
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	雑公事（抜萃）（合 41p）	11. 司雲上代号（1p）			
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	雑公事（抜萃）（合 41p）	12. 諸宮諸寺御仏殿 作替并修葺之事（13. と合わせて1p）	「建築資料」		
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	雑公事（抜萃）（合 41p）	13. 嘉慶二年巳三月 七日立 御扣御後絵 御そかし	「絵画之部 御後絵 資料」		
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	大與座規模帳 抜萃 諸公事（11p）				県立図書館所蔵。 『沖縄旧慣法制史 料集成』第2巻 に収録。○
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	切支丹宗門改帳付届			「乾隆三十四年丑六 月十三日 記」とあ り	
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	組踊（美里殿内本 大城彦六郎氏所蔵 共七冊ノ内）（4p）	・執心鐘入	*内容を要約したも の。「紋様研究ニ於 ケル演劇ノ調査」	「美里殿内本 大城 彦六郎氏所蔵」「別 冊組踊集参照校正 了」	
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	組踊（美里殿内本 大城彦六郎氏所蔵 共七冊ノ内）（4p）	・銘苺子			
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	組踊（美里殿内本 大城彦六郎氏所蔵 共七冊ノ内）（4p）	・義臣物語			
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	組踊（美里殿内本 大城彦六郎氏所蔵 共七冊ノ内）（4p）	・女物狂			
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	組踊（美里殿内本 大城彦六郎氏所蔵 共七冊ノ内）（4p）	・姉妹敵討			
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	同治拾壹年壬申王子 衆以下元服家督御位 島知行餞（4p）			ノート本文、『郷土 目録』『御蔵本』で は「同治拾壹年壬申 王子衆以下元服家督 御位島知行餞土産音 信贈答婚礼祭礼之時 定」	○（～4）、◎
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	土産音信贈答婚礼祭 礼之時定（抜萃）			同上	○（～4）、◎

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	喜安日記(末尾部を 欠く)(22p)				◎◎
59	王子衆以下娘 婚礼之時一	球陽 附卷三・四(抜 萃)(2p)				◎◎
60	琉球国中山世 鑑 序共原六 本 完	・琉球国中山世鑑 序共原六本 完(6p)			「一部抜萃か」	◎◎
60	琉球国中山世 鑑 序共原六 本 完	・平良大首里大屋子 次第(1p)	(系図様のもの)			
60	琉球国中山世 鑑 序共原六 本 完	・下地大首里大屋子 次第(1p)	(系図様のもの)			
61	各間切のろく もいのおもり (全)	各間切のろくもい のおもり(全)(33p)	(「語学材料第十九目 録・・・」とある)		(田島利三郎筆写本 に拠るものであろ う)	○
61	各間切のろく もいのおもり (全)	南島八重垣(全)(8p)			(「明治三十年正月 十五日 語学材料 第拾六 随々菴主」 とある。田島本に拠 るものか)	○
62	紋様	君南風之始相伝記 (50p)	「久米島君南風由来 並にみおやたいり 御双紙一(琉球語研 究資料ニヨリ考定)」 とあり	君南風辞令〔石垣本〕 巻末所載	(原本 君南風殿内 所蔵、参照本 石垣 殿内所蔵)	○
62	紋様	久米仲里間切例帳 (道光十一年辛卯 十一月十二日)			(仲里村役場所蔵< 原本>)(抜萃か)	○
62	紋様	久米具志川間切例 帳(道光十一年辛卯 十一月十二日)(5p)			(県立図書館所蔵< 写本>)(抜萃か)	
62	紋様	大正十一年具志川村 史材料綴一具志川村 役場(8p)	年中行事、冠婚葬祭、 歌謡(「木綿花節」「具 志川ハンタマ節」) 等			
62	紋様	御祭規模一仲里間切 (5p)			「仲里村役場所蔵」	
62	紋様	口上覚 久米島〔彫 刻資料〕(2p)				
62	紋様	(新聞切抜 三葉)	「南国琉球の新年」、 比嘉春潮「沖縄本島 の神隠し」(上・下)			
62	紋様	久米堂のひや天気書 全(18p)	「時トりに関スル研 究(時双紙)時大屋 子」「久米島中城ト 首里城トノ位置ノ関 係」	○雨天に晴降りを知 法(筆書1葉)添付	「同治九年 庚午孟 春吉旦写之 仲地村 東りの前 仲村渠親 雲上」	

ノート番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
62	紋様	琉球史料四十 旧慣 祭祝遊日 (3p)			琉球史料四十	
63	宮古島旧記(「仲宗根家本ニテ校正」とあり)(宮古嶋御嶽由来記 忠導姓正統格護)	1. 宮古島旧記 大清康熙四拾六年丁亥六月一日 (30p)			『宮古島御嶽由来記』 「仲宗根家本ニテ校正 / 朱字ハ仲宗根家本也」	○
63	宮古島旧記一	2. 宮古島旧記 明治三十年二月三日大浦与人所蔵ノ本ニヨリテ (35p)			『雍正旧記』。「明治三十年二月三日大浦与人所蔵ノ本ニヨリテ」	○
63	宮古島旧記一	3. 島中の為メ勲功有之候人由来 雍正五末年五月三日 (10p)			「仲宗根家本末尾」とある	
63	宮古島旧記一	4. 宮古島記事 乾隆拾七年壬申年正月廿日 (16p)			『乾隆旧記』。「昭和二年六月六日於宮古島漲水港朝日旅館校正」とある。	○
64	宮古、八重山、大島研究録Ⅰ	琉球史料五十五ノ内(合 79p)	1. 八重山島開闢記 (23p)	八重山島開闢之事 附為本国轄地之事	琉球史料五十五	
64	宮古、八重山、大島研究録Ⅰ	琉球史料五十五ノ内(合 79p)	2. 宮古島研究資料(家譜等の抜萃)	与那覇勢頭豊見親仲宗根豊見親由来 白川氏		
64	宮古、八重山、大島研究録Ⅰ	琉球史料五十五ノ内(合 79p)	2. 宮古島研究資料(家譜等の抜萃)	忠導氏(仲宗根玄純系) 家譜		
64	宮古、八重山、大島研究録Ⅰ	琉球史料五十五ノ内(合 79p)	3. 八重山島研究資料(家譜等の抜萃) (7p)	長栄姓家譜		
64	宮古、八重山、大島研究録Ⅰ	琉球史料五十五ノ内(合 79p)	4. 八重山旧記 (38p)			
64	宮古、八重山、大島研究録Ⅰ	・南島雑集 写本	1. 南島雑集 大島一(合 17p)	(1) 明治五年壬申四月 高頭其外租税取調帳 大島 (5p)	「沖縄県立図書館蔵」	
64	宮古、八重山、大島研究録Ⅰ	・南島雑集 写本	1. 南島雑集 大島一(合 17p)	(2) 明治五年壬申四月 高頭其外租税取調帳 喜界島 (3p)		○
64	宮古、八重山、大島研究録Ⅰ	・南島雑集 写本	1. 南島雑集 大島一(合 17p)	(3) 明治五年壬申四月 高頭其外租税取調帳 徳之島 (3p)		○

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
64	宮古、八重山、 大島研究録Ⅰ	・南島雑集 写本	1. 南島雑集 大島一 (合 17p)	(4) 明治五年壬申 四月 高頭其外租税 取調帳 沖永良部島 (3p)		○
64	宮古、八重山、 大島研究録Ⅰ	・南島雑集 写本	1. 南島雑集 大島一 (合 17p)	(5) 明治五年壬申四 月 高頭其外租税取 調帳 与論島 (3p)		○
64	宮古、八重山、 大島研究録Ⅰ	・南島雑集 写本	2. 南島雑集 大島二	・雑科輯録 (22p)		○
65	宮古、八重山、 大島研究録Ⅱ	・南島雑集 写本	・(南島雑集 大島二 承前) (17p)			○
65	宮古、八重山、 大島研究録Ⅱ	・南島雑集 写本	3. 南島雑集 三 (合 29p)	(1) (資料名なし。 末尾に「大島在番伊 藤仙太夫」とある) (17p)	「本書ハ内閣文庫蔵 書第二五二四三号ヨ リ写ス」とある。「大 正五年八月」	○
65	宮古、八重山、 大島研究録Ⅱ	・南島雑集 写本	3. 南島雑集 三 (合 29p)	(2) 明治二年己六月 免本諸上物取調帳 喜界島 (4p)		○
65	宮古、八重山、 大島研究録Ⅱ	・南島雑集 写本	3. 南島雑集 三 (合 29p)	(3) 明治二年己六月 免本諸上物取調帳 徳之島		○
65	宮古、八重山、 大島研究録Ⅱ	・南島雑集 写本	3. 南島雑集 三 (合 29p)	(4) 明治二年己六月 免本諸上物取調帳 沖永良部島 (3p)		○
65	宮古、八重山、 大島研究録Ⅱ	・南島雑集 写本	3. 南島雑集 三 (合 29p)	(5) 明治二年己六月 免本諸上物取調帳 与論島 (2p)	「本書ハ内閣文庫第 二五二四三号ヨリ写 ス」とある。「大正 五年八月」	○
65	宮古、八重山、 大島研究録Ⅱ	・南島雑集 写本	4. 南島雑集 大島四	[民費割之方法大略 取調、各島別] (27p)		○
65	宮古、八重山、 大島研究録Ⅱ	・南島雑集 写本	5. 南島雑集 五(33p)	各島村法 (大島各 島のこと 調査者 [目録])	「本書ハ内閣文庫蔵 第四号ヨリ写ス 大正五年八月七日写 了」	○
65	宮古、八重山、 大島研究録Ⅱ	・南島雑集 写本	6. 南島雑集 六(36p)	[糖業資料 大島各 島別]	「本書ハ内閣文庫第 二五二四三号ヨリ写 ス」	○
65	宮古、八重山、 大島研究録Ⅱ	・南島雑集 写本	7. 南島雑集 七(13p)	物定帳 (大島関係 資料)		○
66	宮古、八重山、 大島研究録Ⅲ	・南島雑集 写本	・(南島雑集 七 承 前) (11p)		「本書ハ内閣文庫蔵 書第二五二四三号ヨ リ写ス」	○



ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
66	宮古、八重山、 大島研究録Ⅲ	・南島雑集 写本	8. 南島雑集 喜界島 (26p)		「本書ハ内閣文庫蔵 書第二五二四三号ヨ リ写ス」	○
66	宮古、八重山、 大島研究録Ⅲ	南島誌 卷之二(喜 界島、徳之島)、卷 之三(沖永良部島) (70p)				○
67	宮古、八重山、 大島研究録Ⅳ	(南島志 承前)(40p)	承前、与論島、			○
67	宮古、八重山、 大島研究録Ⅳ	御規模帳(「旧慣調 御規模帳」とある) (73p)				
68	奄美大島	・(御規模帳 承前) (1p)				
68	奄美大島	・大嶼便覧 由香 (1p)				
68	奄美大島	・家譜抜萃 他メモ (6p)	嬉姓喜志統親方氏系 譜	元祖 笠利大屋子	「大島郡宇檢村字湯 湾 白井権三氏」「湯 湾親方ノ子孫ト伝称 ス、馬姓家ノ往来文 書多シ」	
68	奄美大島	・家譜抜萃 他メモ (6p)	有助市氏(宇檢村尋 常高等小学校長)談			
68	奄美大島	・稿本 南島語及文 学 (10p)	歌謡		「南峰都成植義著(大 正二年一月)」	
68	奄美大島	・[古文書 写し](4p)	a. 文献通考 卷三百二十六 琉球国 (3p)			
68	奄美大島	・[古文書 写し](4p)	b. 琉球史料十二首集 卷之五 (6p)	久米村		
68	奄美大島	・[古文書 写し](4p)	c. 大島ノ古伝 (5p)			
68	奄美大島	・琉球国由緒 (3p)				
68	奄美大島	・独物語并御扶持方 定 外二			『郷土目録』では「独 物語并御扶持方定外 二御位階歳割並褒美 物規模」	○
68	奄美大島	・御位階歳割并褒美 物規模写 (31p)			『御蔵本』では「位 階歳割并褒美物規模 帳」	○○
68	奄美大島	・続琉球国志略 卷 一、四、五 (20p)				1978年沖縄県立 図書館が復刻版 を刊行。○
68	奄美大島	・使琉球記 (11p)				○
68	奄美大島	・続琉球国志略 還 硯齋全集之八 (38p)			「昭和元年十二月 二十六日 校了」	1979年沖縄県立 図書館が復刻。 ○

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
68	奄美大島	・師竹齋集(抜書) (1p)	「蜀綿李鼎元墨莊氏 撰」			
68	奄美大島	・メモ数葉	琉球国志略			○
69	至聖先師天上 聖母 由来記 鄭天錫	・至聖先師天上聖母 由来記 鄭天錫(34p)				○(～4)
69	至聖先師天上 聖母 由来記 —	・[家譜抜萃](合76p)	1. 呉姓家譜 正統 (抜萃)(6p)			那覇市史資料編 第1巻8「呉姓家 譜(我那覇家)」
69	至聖先師天上 聖母 由来記 —	・[家譜抜萃](合76p)	2. 向姓家譜系図 今帰仁按司(抜萃) (29p)			那覇市史資料編 第1巻7「向姓家 譜(具志川家)」
69	至聖先師天上 聖母 由来記 —	・[家譜抜萃](合76p)	3. 大宗蔡氏家譜(全 力)(39p)			那覇市史資料編 第1巻6上「蔡 氏家譜」(5家あ り)
69	至聖先師天上 聖母 由来記 —	・[家譜抜萃](合76p)	4. 鄭氏家譜(抜萃) (2p)			那覇市史資料編 第1巻6下「鄭 氏家譜」(4家あ り)
69	至聖先師天上 聖母 由来記 —	・[家譜抜萃](合76p)	[蔡姓家譜 翁長筑 登之親雲上]	三世武榮		
70	王代記 全	・王代記 全(39p)				○
70	王代記 全	・[家譜集](抜萃あ り)(合60p)	1. 麻姓家譜 正統 (田名親雲上)(24p)	一世真武 大城按司		那覇市史資料編 第1巻7「麻姓家 譜(田名家)」
70	王代記 全	・[家譜集](抜萃あ り)(合60p)	2. 蔡姓家譜(渡久 地里之子親雲上)(3p) (○村落卜家職)	一世政恒 本部親雲 上		那覇市史資料編 第1巻8「蔡姓家 譜(渡久地家)」
70	王代記 全	・[家譜集](抜萃あ り)(合60p)	3. 向姓家譜 大宗 (金武按司)(10p)	一世尚久王		
70	王代記 全	・[家譜集](抜萃あ り)(合60p)	4. 和姓家譜(金城 村高原里之子親雲 上)(4p)	七世景典 安勢里親 雲上		
70	王代記 全	・[家譜集](抜萃あ り)(合60p)	5. 和姓家譜 支流 (汀支良次村粟国筑 登之親雲上)(3p)	二世景護 宮平親雲 上		
70	王代記 全	・[家譜集](抜萃あ り)(合60p)	6. 蔡姓家譜 支流 (2p)	六世政真		
70	王代記 全	・[家譜集](抜萃あ り)(合60p)	7. 新參蔡姓家譜 正 統(3p)	新參一世武雅 津堅 親雲上		
70	王代記 全	・[家譜集](抜萃あ り)(合60p)	8. 蔡姓家譜 支流 (2p) 古堅里之子親 雲上	十二世政弼		
70	王代記 全	・[家譜集](抜萃あ り)(合60p)	9. 蔡姓家譜 支流 (7p) 久場里之子親 雲上	十一世政憑		

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
70	王代記 全	・〔家譜集〕(抜萃あり)(合60p)	10. 蔡姓家譜 支流(2p)	五世由政 玻名城親方		
71	[家譜抜萃]	1. 査姓家譜(1p) 国吉筑登之親雲上	十一世真矩			
71	[家譜抜萃]	2. 毛姓家譜(4p)	三世政秀 阿覇根親方			
71	[家譜抜萃]	3. 蔡氏家譜(24p)(蔡温二関スル調査)	十一世温 官至法司 称具志頭親方			那覇市史資料編第1巻6上「蔡氏家譜抄(具志頭家)」
71	[家譜抜萃]	4. 李姓家譜(51) 城田筑登之親雲上	九世由恭			
71	[家譜抜萃]	5. 馬姓家譜 大宗(17p)	一世正胤 国頭親方			
71	[家譜抜萃]	6. 毛姓家譜 正統(8p) 永村親雲上				
71	[家譜抜萃]	7. 毛姓家譜(14p)(池城親方)	一世安基 新城親方			
71	[家譜抜萃]	8. 毛姓家譜 支流(12P)(豊見城)	始祖 盛春中城按司 護佐丸			
71	[家譜抜萃]	9. 和姓家譜 小宗(3P) 屋嘉部筑登之親雲上	五世屋嘉部親雲上			
71	[家譜抜萃]	10. 向姓世系総図(14P)	十二世朝安			
71	[家譜抜萃]	11. 毛姓家譜系図(亀川親雲上)(9P)	十四世盛武			
71	[家譜抜萃]	・国頭御殿所蔵本(国頭正敏氏)覚(2P)	「系祖国頭親方正胤」		「国頭正敏氏」	
72	[八重山資料]	1. 長栄姓系図家譜 大宗	二世信休 大城与人		「聳天楼主人採集『八重山研究資料』二抛ル」と朱書	
72	[八重山資料]	2. 大安母由来并美崎嶽建始候事 以下	歌謡あり			
72	[八重山資料]	3. 八重山島かはら玉 禁止ノ始末			「康熙三十二年癸酉」	
72	[八重山資料]	4. 建昌姓系図家譜 大宗	七世廣品		「登野城 伊是名廣久氏」	
72	[八重山資料]	5. 有若氏系図家譜 小宗	十世恭苗			
72	[八重山資料]	6. 上官氏系図家譜 小宗	六世正儀		「八重山石垣町字新川 糸洲正悖氏」	
73	[家譜集](抜萃)	1. 大宗 鄭氏家譜 十七番湖城親方	元祖長史諱義才	2. 鄭氏世系総図		
73	[家譜集](抜萃)	3. 鄭氏家譜 小宗 古波蔵親雲上	十三世紫金大夫加衛法司正卿諱兼哲			那覇市史資料編第1巻6下「鄭氏家譜(古波蔵家)」

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
73	[家譜集] (抜萃)	4. 金姓家譜 十七番 具志堅里之子親雲上	元祖通事諱瑛	5. 金氏世系総図		那覇市史資料編 第1巻6上。「金 氏・金姓家譜」(7 家あり) ◎
73	[家譜集] (抜萃)	6. 金姓家譜 (七世諱 応魁ヨリ) 十七番 渡具地親雲上	八世紫金大夫諱正春			◎
73	[家譜集] (抜萃)	7. 陳姓家譜 十七番 幸喜里之子親雲上	元祖諱華			
73	[家譜集] (抜萃)	8. 林氏家譜 十七番 平安座親雲上	元祖諱胤芾	9. 林姓小宗系図		那覇市史資料編 第1巻6下「林氏 家譜(平安座家)」。 ◎
73	[家譜集] (抜萃)	10. 林氏家譜	三世都通事…諱世 重	「自了考」		
73	[家譜集] (抜萃)	11. 梁姓家譜 久米 村 古謝里之子親雲 上	十三世淵			那覇市史資料編 第1巻6下「梁姓 家譜(古謝家)」
73	[家譜集] (抜萃)	12. 梁姓家譜 久米 村 阿嘉里之子親雲 上	五世国琬			那覇市史資料編 第1巻6下「梁姓 家譜(阿嘉家)」
73	[家譜集] (抜萃)	13. 梁氏家譜 久米 富山通事	元祖都通事諱守徳			
73	[家譜集] (抜萃)	14. 和姓家譜 序	15. 和姓家譜 大宗	一世景明 浦添親方		那覇市史資料編 第1巻7「和姓家 譜(古謝家)」
74	[諸史資料抜萃]	・[諸史資料抜萃] (合 3P)	1. 大島筆記 (4P)	服飾、紋様、神道、 等		『日本庶民生活史 料集成』第1巻 (1868) 所収。○
74	[諸史資料抜萃]	・[諸史資料抜萃] (合 3P)	2. 琉球入学見聞録 (42p)			○
74	[諸史資料抜萃]	・[諸史資料抜萃] (合 3P)	3. 琉球史料二十・官 生由来並御入目等之 事 (3p)	・大清道光十八年戊 戌封王之為御礼御在 番所江 (1p) 御光 趣日記より抜 評定 所		
74	[諸史資料抜萃]	・[諸史資料抜萃] (合 3P)	3. 琉球史料二十・官 生由来並御入目等之 事 (3p)	・大清道光十八年戊 戌八月より十月迄冠船 御物奉行那覇諸日記 より抜 三番 (3p)	(上記3は74ノート 表紙に「評価物代銀 記其他」とあるのに 対応しているものと 思われる。……[目 録]調査者)	
74	[諸史資料抜萃]	・琉球事件 島津家 届書類 全 (48p)	(「琉仏関係」「琉英 関係」「亜米利加船」 「露西亞国船」)		「本書ハ内閣文庫蔵 書第四二八三九号よ り写す」	
74	[諸史資料抜萃]	・道光〔二十七年〕 二拾八年 異国日記 (6p)				◎◎ (年代違い)

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
75	[諸史資料抜萃 他] 《紬関係資 料》	1. 白紬御用布誰ガ仕 立布か (メモ片)				
75	[諸史資料抜萃 他] -	2. [久米島織工資料] 蠶桑輯略 (12p)			「雍正丁未歳秋七月 河南總督田文鏡撰河 南布政司費金吾輯」 「ナカジル殿内所蔵 写本」	
75	[諸史資料抜萃 他] -	3. [久米島織工資料] (4p)			「仲里村字真謝比屋 定周智氏所蔵文書ヨ リ『校了』とある)	
75	[諸史資料抜萃 他] -	4. 鹿児島県大島紬			「明治四十二年十月 調 鹿児島県大島々 庁」	
75	[諸史資料抜萃 他] -	5. 毛氏安里大親由来 書 (伊野波誌)			「附元祖以来之勤功 書并由来書取添差上 申候 巳二月 毛氏 当歳三拾八 永村親 雲上清応」	
75	[諸史資料抜萃 他] -	6. 東汀隨筆 (66p)			「大正元年十一月著 ス」	○
75	[諸史資料抜萃 他] -	7. 琉球資料 道光 三十年乃至咸豊六年 外国条約 其他 (2p)	琉英関係、伯徳令、 宗教、資料		「琉球史料三十」	
75	[諸史資料抜萃 他] -	8. 蔡温之白叙伝 (抜萃) (4p)				
75	[諸史資料抜萃 他] -	9. 羽地家 家之伝物 語 (16p)			「羽地按司朝美著」	○
75	[諸史資料抜萃 他] -	10. 総理大臣仏蘭西 提督交執条約 仏蘭 西条約 他 内務部 第一課 (5p)			出典不明	
75	[諸史資料抜萃 他] -	11. 琉球三冤録 全 (5p)			「喜舎場朝賢著」	『琉球見聞録』 1977年(至言社 刊)所収。○
75	[諸史資料抜萃 他] -	12. 異本毛姓由来記 (5p)				○
76	奄美史談 全 都成植義 著 (ノート77に 続く)	奄美史談			「都成植義著」	○
76	奄美史談 - (ノ ート77に続 く)	(新聞切抜)	東恩納寛惇「隋書の 琉球は果して沖繩な りや」上・中・下			

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
76	奄美史談 - (ノート 77 に続く)	[資料]	「(能呂久米辞令) ……南島雑話四二ハコノ朱印ノ外万曆三十七年二月十一日 万曆三十五年閏六月六日ノモノ二枚ヲ併セ載セタリ」			
77	[奄美関係諸書 抜萃]	(奄美史談 承前)				○
77	[奄美関係諸書 抜萃]	1. 南島雑話 (抜萃) (54p 図 6 枚)				『日本庶民生活史料集成』第 1 巻 (1968) 所収。○
77	[奄美関係諸書 抜萃]	2. 大島代官記 (抜萃) (1p)			末尾近くノート中に「鹿児島県大島郡名瀬町 / 大島公論社 □ 清二」とある。	
77	[奄美関係諸書 抜萃]	3. 大島由来記 (全力) (6p)				○
77	[奄美関係諸書 抜萃]	4. 大島私考 (一名本 田私考 (抜萃) (4p)			本田孫九郎著	鹿児島県立図書館奄美分館編『奄美史料』2 (1972) に収録。○
77	[奄美関係諸書 抜萃]	5. 大島規模帳 享保 十三年申十二月十五日 (抜萃) (4p)			「鹿児島藩庁ヨリ大島代官へ与へタル示達書」	○
77	[奄美関係諸書 抜萃]	6. 沖永良部誌 (抜萃) (15p)			「大正三年十月 和泊村編纂」	○
77	[奄美関係諸書 抜萃]	7. 徳之島小史 栄友 直著大正六年 (抜萃) (8p)			「大正六年 栄友直著」	1963 年に復刻。○
78	[琉球国の記事 集成] (記事抜萃)	1. 大明会典 琉球国			「東洋文庫本」「図書館本」と見える。「東洋文庫本ニヨリ校」とあり、底本は「図書館本」か。	
78	[琉球国の記事 集成] -	2. 隋書 琉球国、				
78	[琉球国の記事 集成] -	3. 淵鑑類函 琉球 一、琉球二				
78	[琉球国の記事 集成] -	4. 大東野乘八 倭国			「朝鮮古書刊行会」	

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
78	[琉球国の記事 集成] -	5. 大東野乗六				
78	[琉球国の記事 集成] -	6. 稗官雑記				
78	[琉球国の記事 集成] -	7. 統弘簡録元史類編				
78	[琉球国の記事 集成] -	8. 増補文献備考				
78	[琉球国の記事 集成] -	9. 海東釋史				
78	[琉球国の記事 集成] -	10. 燃藜室記述別集 琉球国				
78	[琉球国の記事 集成] -	11. 室町家御内所案 下 渡辺幸庵対話				
78	[琉球国の記事 集成] -	12. 明史 琉球				
78	[琉球国の記事 集成] -	13. 元史 瑠求				
78	[琉球国の記事 集成] -	14. 唐書 流思				
78	[琉球国の記事 集成] -	15. 本居宣長全集 第四				
78	[琉球国の記事 集成] -	16. 梅園日記 卷之 四				
78	[琉球国の記事 集成] -	17. 松の落葉 一之 卷、二の卷				
78	[琉球国の記事 集成] -	18. 新井白石全集 「江関筆談」				
78	[琉球国の記事 集成] -	・琉球国郷帳 琉球 国			「寛文八年申十月」	複製本が沖縄史料編集所などにある。
78	[琉球国の記事 集成] -	・染物早指南 全 (12p)			「田中喜作氏所蔵本 ヨリ抜 好染翁編述 染物早指南 全 一 勇齋國芳画 嘉永六 年癸丑三月」	
79	[琉球国の記事 集成] -	1. 中外経緯伝 卷四 (史籍集覧第十一冊)				

ノート 番号	ノート表題	収録文献	内容	内容補足	書誌情報	備考
79	[琉球国の記事 集成] -	2. 島津家譜 (史籍集 覧第十五冊)				
79	[琉球国の記事 集成] -	3. 将軍家装束考 (史 籍集覧第十七冊)			「明治三十五年十一 月校了 坂田諸遠誌 近藤圭造」	
79	[琉球国の記事 集成] -	4. 続善隣国実記 (史 籍集覧第廿一冊)				
79	[琉球国の記事 集成] -	5. 異称日本伝 卷中 一 (史籍集覧第廿冊)				
79	[琉球国の記事 集成] -	6. 野史卷一百六十七 十七 征琉球				
79	[琉球国の記事 集成] -	7. 野史卷二百八十八 二十七 外国伝第七 琉球				
79	[琉球国の記事 集成] -	8. 新井白石全集 卷 五 白石先生餘稿				
79	[琉球国の記事 集成] -	9. 白石先生餘稿 卷 之三 書白石餘稿後				
79	[琉球国の記事 集成] -	10. 白石先生手簡				
81	周煌 琉球国 志略 (翰林院 侍講臣 周煌 恭輯)	d2 琉球国志略 卷之 四下 (15p)	風俗、形質、気候、 習尚、儀節、節令、 服飾、舎宇	新聞切抜き「琉球に 於ける馬」		平田嗣全訳注 『琉球国志略』 (1977)。○
81	周煌 琉球国 志略-	c 琉球国志略 卷之 三 (39p)	封貢、暹邏琉球トノ 交通			○
81	周煌 琉球国 志略-	a2 琉球国志略 首卷 (11p)	御書、詔勅、論祭文			○
81	周煌 琉球国 志略-	d1 琉球国志略 卷之 四 (12p)				○
81	周煌 琉球国 志略-	・ 琉球国志略 卷之 七 (17p)				○
81	周煌 琉球国 志略-	・ (抜萃) 琉球国志略 卷之八 (2p)	迎恩亭、却金亭、息 思亭、等			○
81	周煌 琉球国 志略-	・ (抜萃) 琉球国志略 卷之十 (2p)	賦役、本朝、冊封			○
81	周煌 琉球国 志略-	・ (抜萃) 琉球国志略 卷之六 (6p)	府署、王府、等			○